

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-4

< 第9週 > 伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してもかなり多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.5-7

< インフルエンザ >
第9週の定点当たり報告数は23.4となり、第2週以降、8週連続して増加が続いている



病原体情報
P.8-11

インフルエンザウイルス 2006/07シーズン / 感染性胃腸炎関連ウイルス 2006/07シーズン



速報

< 今週は該当記事はありません >



海外感染症情報
P.12

ラオスでの鳥インフルエンザ流行状況 / エジプトでの鳥インフルエンザ流行状況



感染症の話
P.13-19

< ノロウイルス感染症 > ノロウイルスはヒトに対して嘔吐、下痢などの急性胃腸炎症状を起こし、冬型の胃腸炎、食中毒の原因ウイルスとして知られている



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(9週)
P.20-26



9週のデータ
P.27-38



発生動向総覧

2006年4月からの報告システムの変更に伴い、疾病の並び順を一部変更しました。

< 第9週コメント > 3月8日集計分

全数報告の感染症

注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

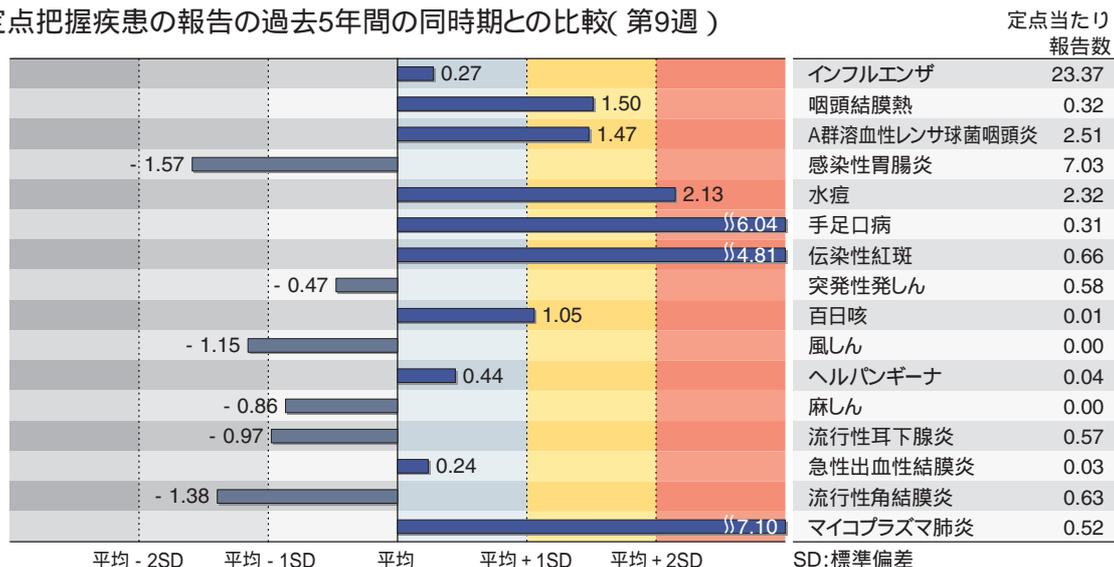
- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 細菌性赤痢 10例(感染地域: 大阪府1例、インド4例、ベトナム2例、ブラジル1例、パキスタン1例、ベトナム/カンボジア1例)
腸チフス 2例(感染地域: インドネシア1例、疑似症1例)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 17例(うち有症者8例、HUSなし)
報告の多い感染地域: 千葉県4例、佐賀県4例
年齢群: 10歳未満(8例)、10代(3例)、20代(1例)、30代(3例)、40代(1例)、60代(1例)
血清型・毒素型: O157 VT1・VT2 5例、O157 VT2 5例、O26 VT1 5例、O111 VT1(1例)、その他・不明(1例)
- 4類感染症: A型肝炎 1例(感染地域: 福岡県)
オウム病 1例(感染源: インコ)
つつが虫病 1例(感染地域: 岐阜県)
マラリア 1例(熱帯熱、感染地域: コンゴ民主共和国)
レジオネラ症 9例(すべて肺炎型)
年齢群: 40代1例、50代3例、60代2例、70代1例、80代1例、90代1例
感染地域: 福岡県2例(とともに温泉)、宮城県1例、長野県1例、愛知県1例、兵庫県1例、熊本県1例、国内(都道府県不明)1例、台湾1例
- 5類感染症: アメーバ赤痢 9例(腸管アメーバ症8例、腸管外アメーバ症1例)
感染地域: 国内6例、インドネシア1例、国外(国不明)2例
感染経路: 経口3例、性的接触(異性間)1例、経口/性的接触(異性間・同性間)1例、不明4例
- 急性脳炎 1例(B型インフルエンザウイルス(10代))
- クロイツフェルト・ヤコブ病 2例
(孤発性プリオン病古典型1例、遺伝性プリオン病家族性1例)
- 後天性免疫不全症候群 16例(無症候11例、AIDS 3例、その他2例)
感染地域: 国内13例、フランス1例、ギニア1例、国内・国外不明1例
感染経路: 性的接触11例(異性間5例、同性間5例、同性間/異性間1例)、不明5例
- 梅毒 8例(早期顕症I期2例、早期顕症II期4例、無症候2例)
- 破傷風 1例(70代)

(補)他にバンコマイシン耐性腸球菌感染症1例の報告があったが削除予定。また2007年分の報告遅れとして、細菌性赤痢2例(感染地域: とともにインドネシア)、E型肝炎1例(感染地域: 国内(都道府県不明)、感染源: 不明)、オウム病1例(感染源: ハト)、急性脳炎4例(単純ヘルペスウイルス2例(0歳、70代)、A型インフルエンザウイルス1例(3歳)、病原体不明1例(1歳))、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例(60代、血清群: A群)などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第9週)



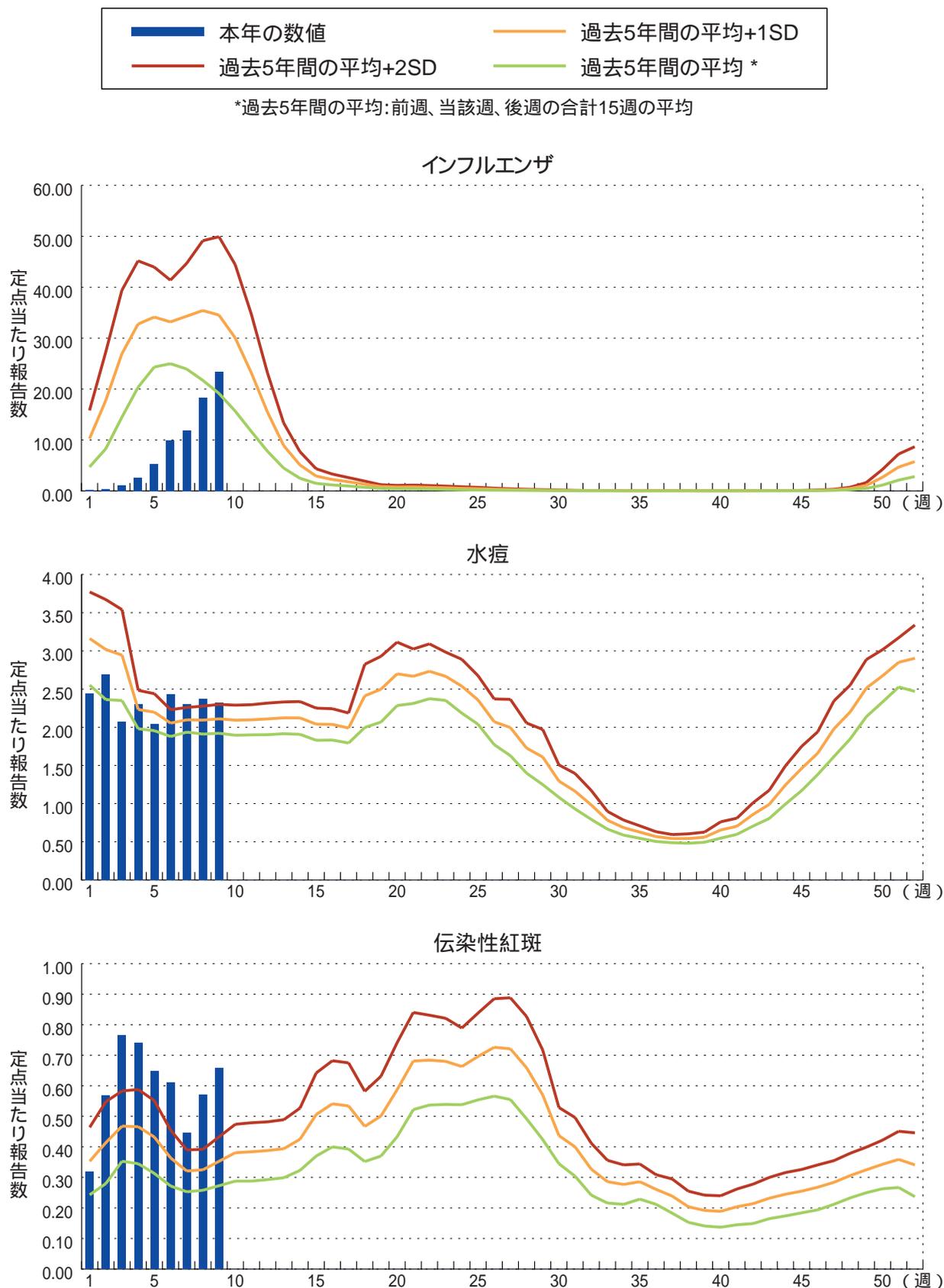
当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第2週以降増加が続いている。都道府県別では福岡県(43.2)、三重県(40.4)、福井県(38.0)、沖縄県(32.8)、大分県(32.7)、宮崎県(32.1)、愛知県(31.7)が多い。

小児科定点報告疾患: RSウイルス感染症は962例の報告があり、第5週以降減少が続いている。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の75%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別では青森県(1.02)、富山県(1.00)、山形県(0.93)、佐賀県(0.91)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してもやや多い。都道府県別では富山県(6.8)、新潟県(5.0)、北海道(5.0)、鳥取県(4.8)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では徳島県(14.1)、熊本県(12.4)、宮崎県(12.3)、福井県(12.0)が多い。水痘の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では沖縄県(5.4)、宮崎県(5.0)、和歌山県(4.8)、鹿児島県(4.8)が多い。手足口病の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では宮崎県(4.1)、鹿児島県(1.7)、熊本県(1.7)、佐賀県(1.7)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してもかなり多い。都道府県別では富山県(3.9)、石川県(1.9)、宮城県(1.6)、長野県(1.5)が多い。百日咳の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では徳島県(0.05)、栃木県(0.04)、岐阜県(0.04)が多い。風しんの定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では東京都2例、秋田県、神奈川県、愛知県、滋賀県、大阪府、兵庫県から各1例の報告であった。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は微減した。都道府県別では山口県(0.39)、岩手県(0.23)、岡山県(0.22)が多い。麻しんの定点当たり報告数は減少した。都道府県別では埼玉県から2例、宮城県、長野県、愛知県から各1例の報告であった。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では新潟県(2.1)、青森県(1.6)、宮崎県(1.6)が多い。

基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してもかなり多い。都道府県別では沖縄県(5.6)、青森県(1.8)、佐賀県(1.5)が多い。成人麻しんは宮城県、三重県から各1例の報告があった。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2007年第1 ~ 9週)
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

インフルエンザ

インフルエンザはインフルエンザウイルスによる感染症であり、感染の標的は鼻咽頭、気管支などである。一般的に、急激に発症する38以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などに加えて、咽頭痛、鼻汁、咳などの症状もみられる。通常の感冒(いわゆるかぜ)とは、全身症状を伴い、重症化することが比較的多い点で異なるが、加えて基本的に流行性疾患であり、一旦本格的な流行が始まると、短期間(2～3カ月間)に乳幼児から高齢者まで膨大な数の人を巻き込むところも、通常の感冒とは異なる点である。例年、12月の半ばから流行が開始し、2月の初旬頃までに流行のピークに達することが多いが、今シーズン(2006/07シーズン)は1月の半ばから流行が始まり、2007年第8週まで報告数の増加が続いていた。

感染症発生動向調査によると、2007年第9週における全国約5,000カ所のインフルエンザ定点医療機関からの定点当たり報告数は23.4(報告数112,057)となり、第2週以降、8週連続して増加が続いている(図1)。都道府県別では福岡県(43.2)、三重県(40.4)、福井県(38.0)、沖縄県(32.8)、大分県(32.7)、宮崎県(32.1)、愛知県(31.7)、長野県(30.7)の順である。定点当たり報告数が30.0を超えているのは九州及び中部地域の各県であるが、報告は全国的に増加している(図2)。2006年第36週以降これまでに、定点医療機関から354,347例の累積報告があり、年齢別では5～9歳が30.6%と最も多く、次いで10～14歳(23.4%)、0～4歳(19.3%)の順となっている。例年と比べて10～14歳の割合が増加している状況に変わりはない(図3)。

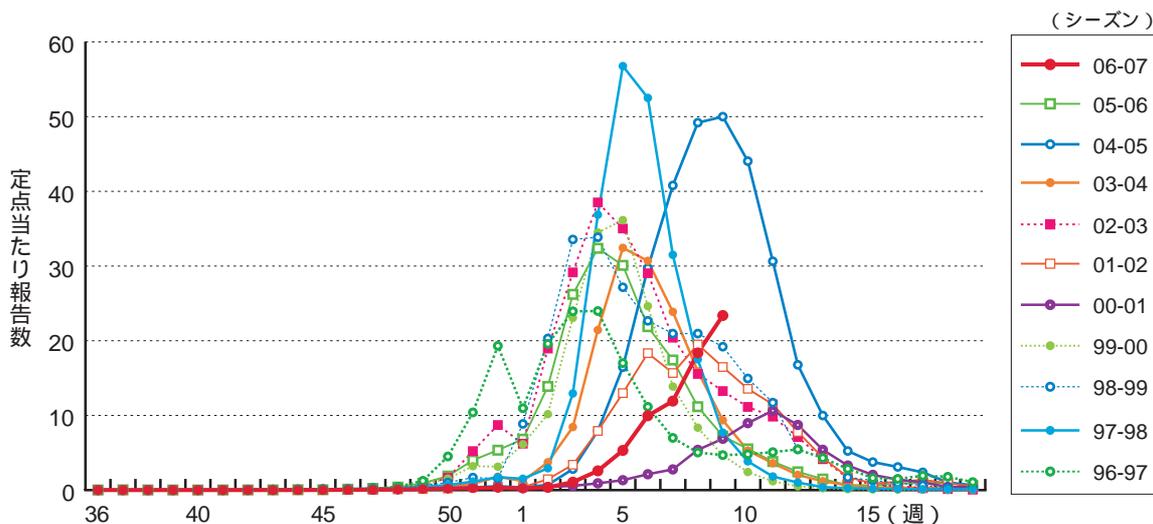


図1. インフルエンザのシーズン別・週別発生状況(1996年第36週～2007年第9週)

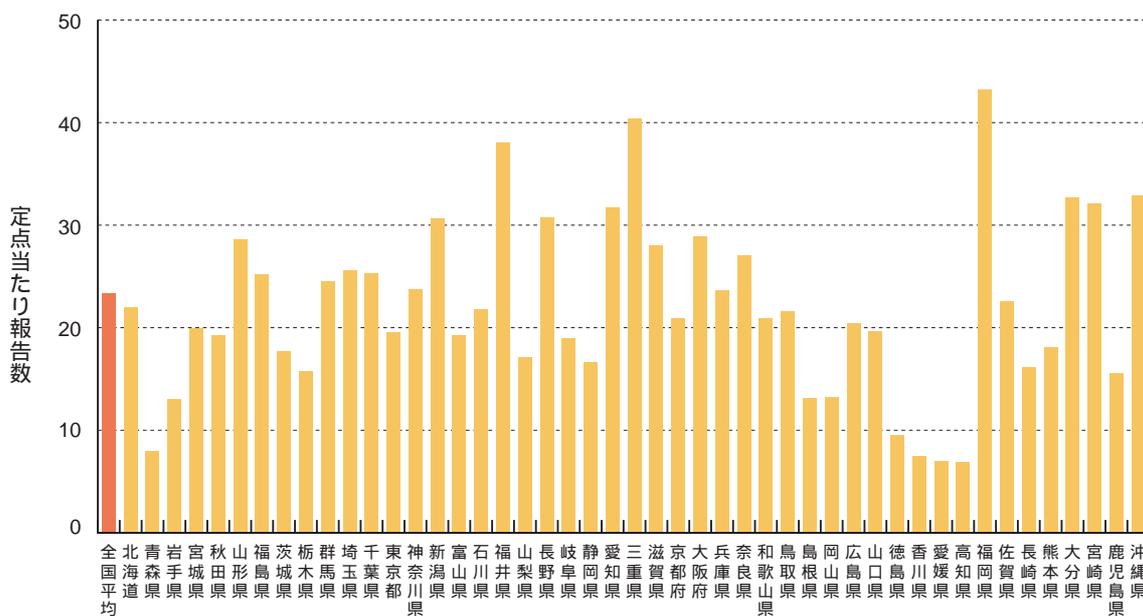


図2. インフルエンザの都道府県別報告状況(2007年第9週)

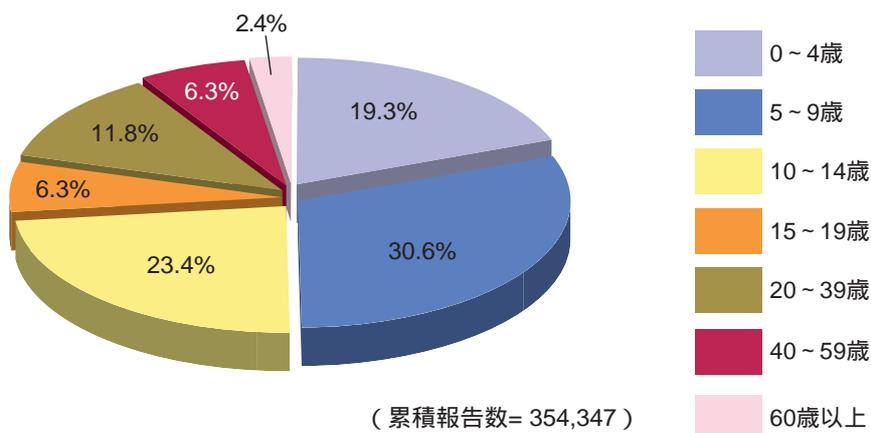


図3. インフルエンザの報告症例の年齢別割合(2006年第36週 ~ 2007年第9週)

第36週以降これまでに全国の衛生研究所から報告されたインフルエンザウイルスの分離報告(総報告数1,333)では、AH1(Aソ連)亜型7.4%(報告数99例)、AH3(A香港)亜型55.9%(745例)、B型36.7%(489例)である(図4、図5)。この様に、今シーズンはAH3亜型とB型の混合流行である。

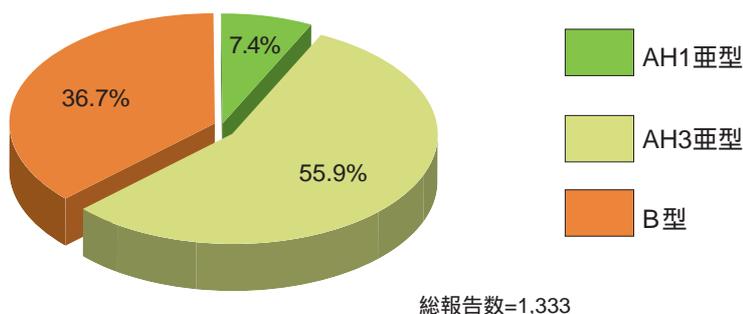


図4. 2006/07シーズンにおけるインフルエンザウイルスの分離状況 (2006年第36週 ~ 2007年第9週)

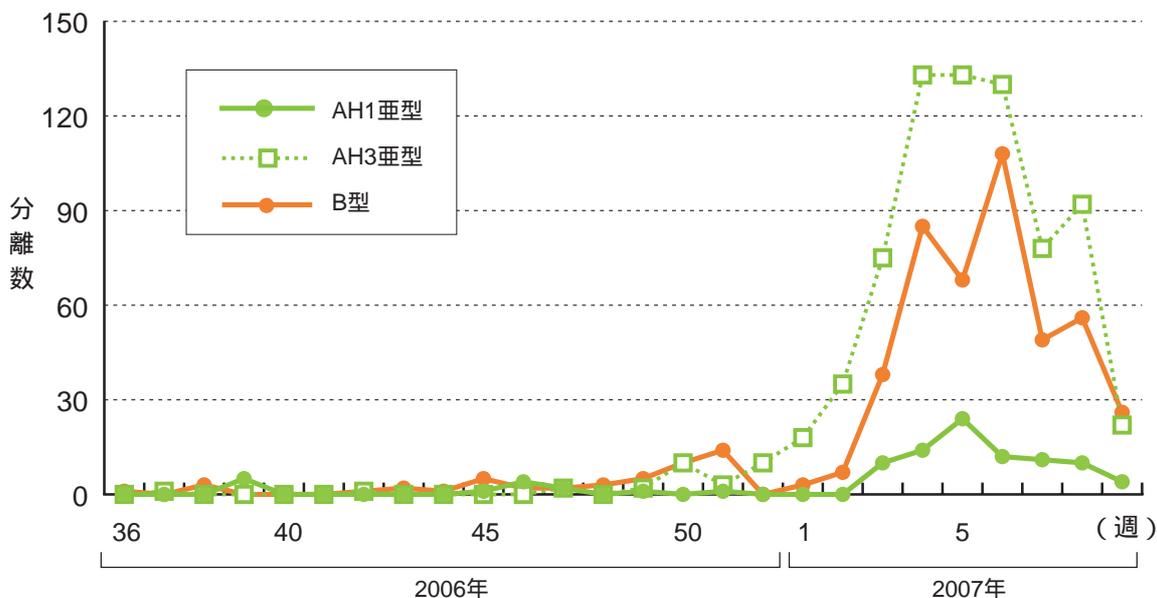


図5. 2006/07シーズンにおけるインフルエンザウイルス分離の週別推移 (2006年第36週 ~ 2007年第9週)

今シーズンのインフルエンザの流行は1月中旬(2007年第3週)から始まったが、6週間後の第9週現在でもまだ増加が続いている。これまでの各シーズンの流行をみると、今シーズンの流行のピークは近いと思われるが、今後ともインフルエンザの発生動向には注意が必要である。



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2007年3月8日現在報告分)

インフルエンザウイルス 2006/07シーズン

例年より遅く2007年に入ってからAH3亜型が増加し始め、第3週以降はB型も増加している。

第36週からの累計ではAH1亜型99件、AH3亜型745件、B型489件が報告されている(PCR/抗原検出によるAH1亜型1件、AH3亜型7件、B型6件を含む)。

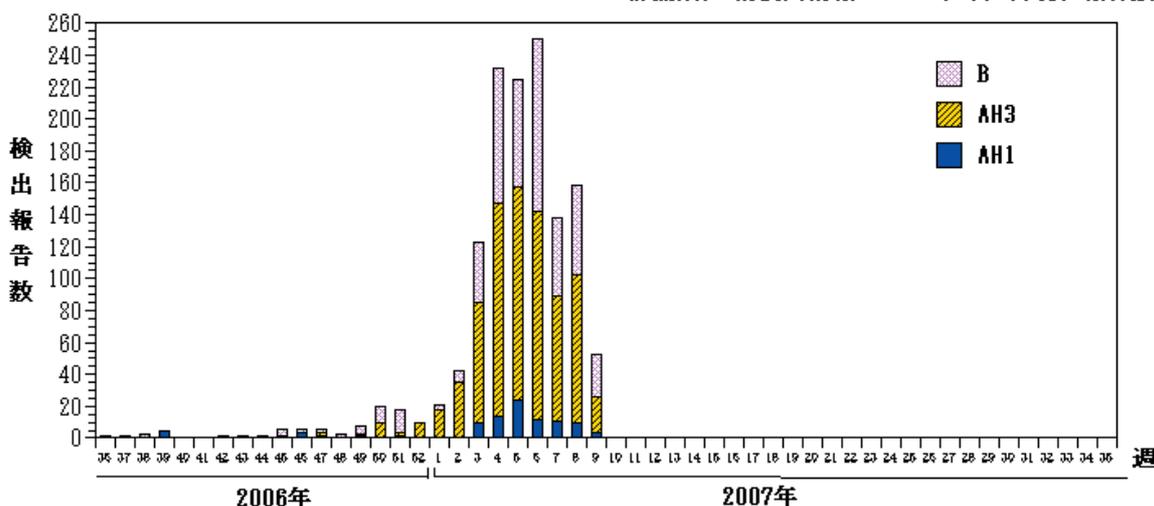
AH1亜型 : 第39 ~ 51週に14件、2007年第3 ~ 5週に10、14、24件と増加し、第6週12件、第7週11件、第8週10件、第9週4件が報告されている。直近の4週間(第6 ~ 9週)では山形県、神奈川県、福岡県各5件、千葉県、愛媛県各4件、福井県、山梨県各3件など15府県から報告されている。

AH3亜型 : 第37 ~ 52週29件、2007年第1 ~ 5週に18、35、75、133、133件と増加し、第6週130件、第7週78件、第8週92件、第9週22件が報告されている。直近の4週間(第6 ~ 9週)では神奈川県59件、北海道49件、石川県26件、山口県23件、千葉県、大阪府各19件、宮城県12件、富山県11件、群馬県、長野県各10件など31道府県から報告されている。

B型 : 第36 ~ 51週49件、2007年第1 ~ 5週に3、7、38、85、68件と増加し、第6週108件、第7週49件、第8週56件、第9週26件が報告されている。直近の4週間(第6 ~ 9週)では神奈川県43件、北海道26件、千葉県20件、愛媛県19件、長野県17件、石川県14件、岐阜県13件、広島県12件、静岡県11件、愛知県8件など27道府県から報告されている(中国への渡航歴が有る者1件を含む)。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2006/07シーズン

(病原微生物検出情報 : 2007年3月8日現在報告数)

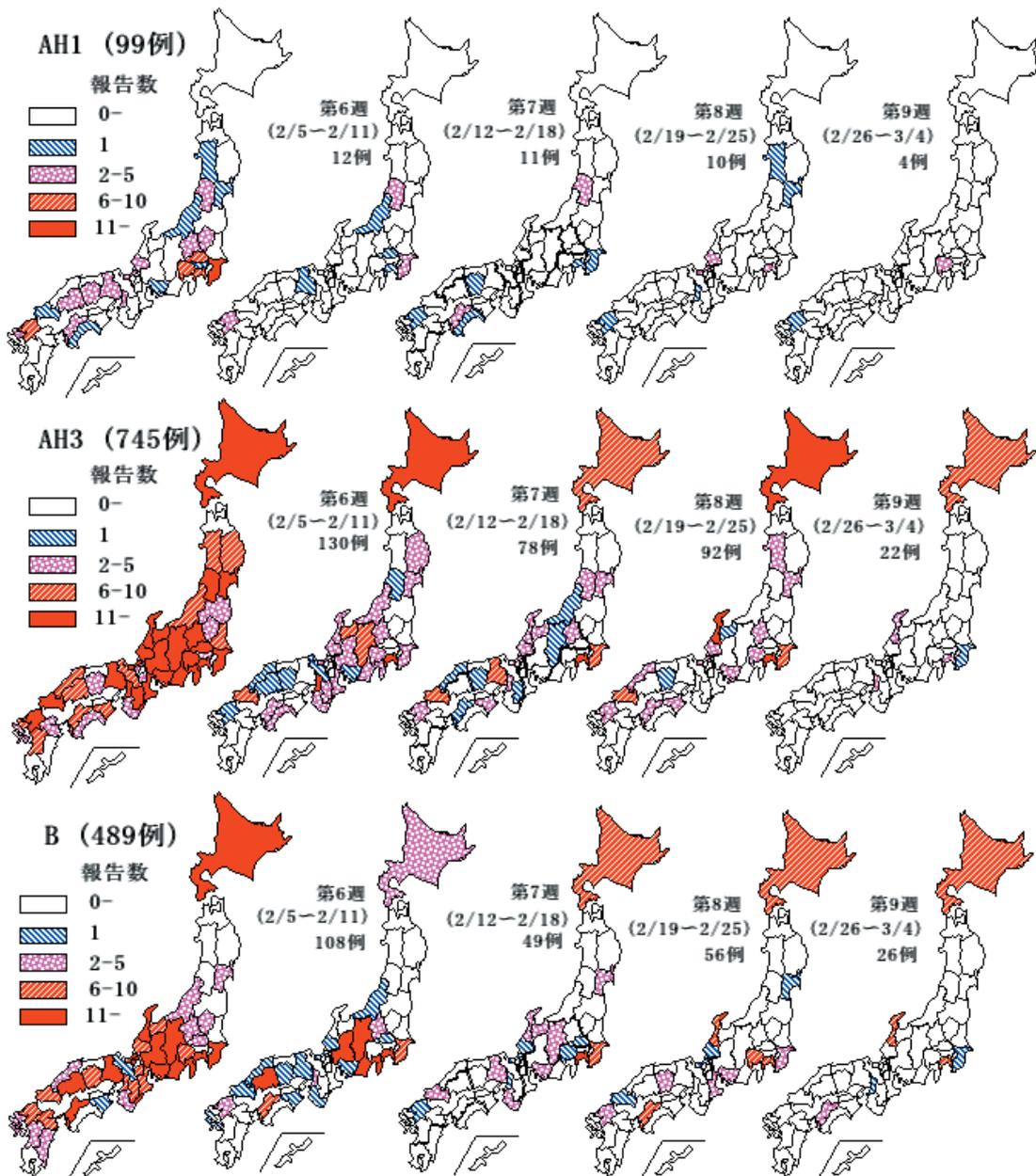


各都道府県市の地方衛生研究所からの分離・検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2006/07シーズン
 (病原微生物検出情報：2007年3月8日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report

感染性胃腸炎関連ウイルス 2006/07シーズン

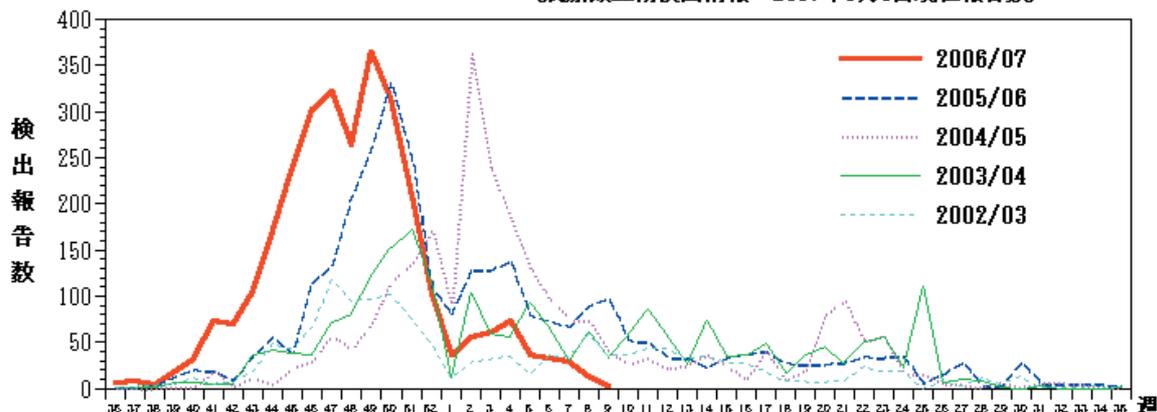
例年より早く2006年第40週より増加が始まり、第36週からの累計ではノロウイルスgenogroup IIが2,679件、genogroup Iが35件、サポウイルスが52件、A群ロタウイルスが93件報告されており、ノロウイルスgenogroup IIが大勢を占めている。

ノロウイルスgenogroup IIは大阪府387件、神奈川県280件、滋賀県218件、岩手県189件、愛媛県182件、京都府160件、広島県144件、高知県111件、岡山県100件など40府県から報告されている。genogroup Iは香川県10件、大阪府5件など16府県から、サポウイルスは高知県15件、熊本県13件、神奈川県9件、愛媛県5件など10県から、A群ロタウイルスは千葉県17件、東京都14件、愛媛県10件、神奈川県、京都府各9件、熊本県6件、静岡県、島根県、徳島県各5件など17都府県から報告されている。

また、ノロウイルスgenogroup IIによる施設内感染、食中毒などの集団発生の報告も増加しており、これまでに9月に5事例、10月に63事例、11月に267事例、12月に202事例、2007年1月に62事例、2月に23事例、計622事例が報告されている(このうち10月、11月の各1事例、12月の3事例ではgenogroup IとIIを検出)。

検出されたgenogroup IIのノロウイルスについて、さらに遺伝子型別まで実施された124事例中120事例はGII/4と報告されている(他には10月にGII/9が1事例、11月にGII/2とGII/6が各1事例、1月にGII/2が1事例)。また、10月の1事例、12月の3事例、1月の1事例、2月の1事例ではgenogroup Iが検出され、11月の5事例、12月の5事例、1月の3事例のgenogroupは不明である(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/noro.html>)。

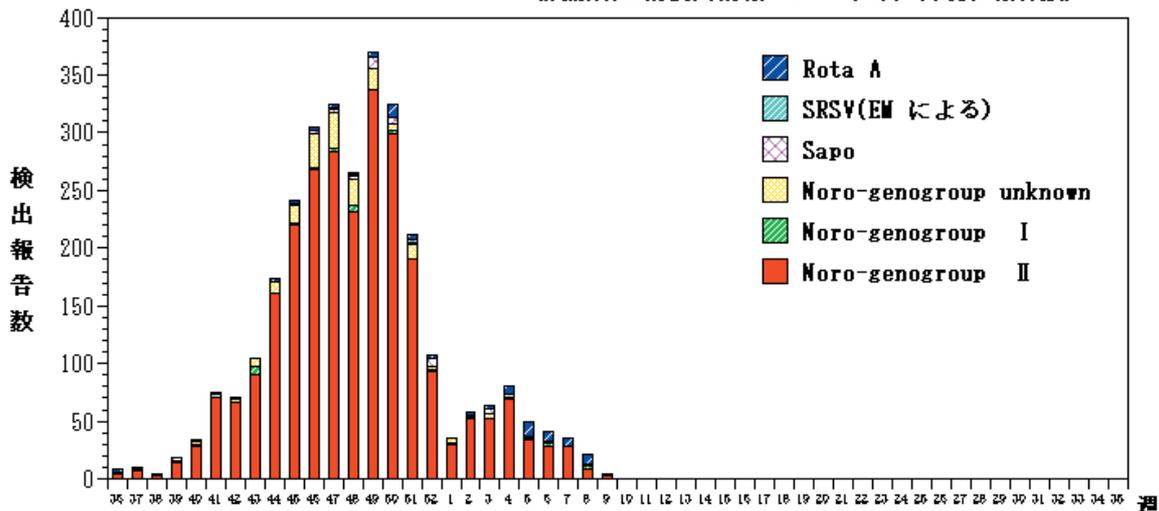
週別SRSV(ノロウイルス、サポウイルス) 検出報告数、過去4シーズンとの比較、2002/03-2006/07シーズン
(病原微生物検出情報：2007年3月8日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。 **IASR**
Infectious Agents Surveillance Report

週別SRSV&ロタウイルスの検出報告数、2006/07シーズン

(病原微生物検出情報：2007年3月8日現在報告数)



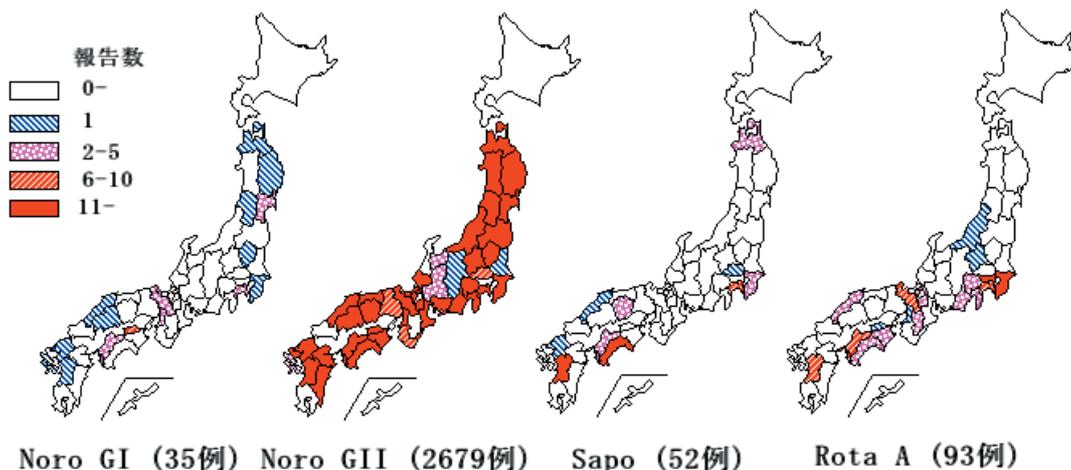
* 各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告状況、2006/07シーズン

(病原微生物検出情報：2007年3月8日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

ラオスでの鳥インフルエンザ流行状況

WHO/EPR 2007年3月8日 - 更新

ラオス人民民主共和国保健省は、国内で初めてのH5N1型鳥インフルエンザウイルス感染患者の死亡を確認した。

2月27日に感染が報告されていたピエンチャン在住の15歳少女が、3月7日に隣国タイの病院で死亡した。

エジプトでの鳥インフルエンザ流行状況

WHO/EPR 2007年3月12日 - 更新8

エジプト保健人口省は、新たな鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルス感染患者1名を発表した。

患者は、エジプト中央公衆衛生研究所および米国海軍医学研究所Unit No. 3(NAMRU-3)で確定された。

患者はAd Daqahliyah行政地区の4歳少年で、2007年3月7日に発症し、8日に入院し、現在、病状は落ち着いている。少年は3月の最初の3日間、病鳥に曝露されていた。少年との接触者には健康に異常を呈した者はないが、綿密に監視が行われている。

エジプトで現在までに感染が確定された24名のうち、13名が死亡している。



感染症の話

ノロウイルス感染症

ノロウイルス(Norovirus)は、電子顕微鏡で観察される形態学的分類でSRSV(小型球形ウイルス)、あるいはノーウォーク様ウイルス“ Norwalk-like viruses ”という属名で呼ばれてきたウイルスである。2002年の夏、国際ウイルス命名委員会によってノロウイルスという正式名称が決定され、世界で統一されて用いられるようになった。

ノロウイルスはヒトに対して嘔吐、下痢などの急性胃腸炎症状を起こすが、その多くは数日の経過で自然に回復する。季節的には秋口から春先に発症者が多くなる冬型の胃腸炎、食中毒の原因ウイルスとして知られている。ヒトへの感染経路は、主に経口感染(食品、糞口)である。感染者の糞便・吐物およびこれらに直接または間接的に汚染された物品類、そして食中毒としての食品類(汚染されたカキあるいはその他の二枚貝類の生、あるいは加熱不十分な調理での喫食、感染者によって汚染された食品の喫食、その他)が感染源の代表的なものとしてあげられる。ヒトからヒトへの感染として、ノロウイルスが飛沫感染、あるいは比較的狭い空間などでの空気感染によって感染拡大したとの報告もある。この場合の空気感染とは、結核、麻疹、肺ペストのような広範な空気感染(飛沫核感染)ではないところから、埃とともに周辺に散らばるような塵埃感染という語の方が正確ではないかと考えている(<http://idsc.nih.go.jp/disease/norovirus/0702keiro.html>)。

疫学

わが国のノロウイルスに関する疫学的データは3つある。

- (1)食中毒統計(<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/index.html>)は、医師の届出によって保健所が検査し、厚生労働省にウイルス性食中毒として報告され集計されている。我が国における集団食中毒がほぼ捉えられている。平成17年の食中毒発生状況によると、ノロウイルスによる食中毒は、事件数では、総事件数1,545件のうち274件(17.7%)、患者数では総患者数27,019名のうち8,727名(32.3%)となっている。病因物質別にみると、カンピロバクター・ジェジュニ/コリ(645件)に次いで発生件数が多く、患者数では第1位となっている。表1、2に平成12年から17年のノロウイルスによる集団食中毒の集計結果を示した。
- (2)感染症発生動向調査(週報)の中で、冬季の感染性胃腸炎関連ウイルスとして集計されている。感染性胃腸炎は感染症法の5類感染症定点把握疾患で、全国約3,000カ所の小児科定点医療機関から報告される(<http://idsc.nih.go.jp/idwr/index.html>)。感染性胃腸炎の報告にあたって原因病原体の特定は求められていないので、すべてが同一の病原体によるものとは断定できないが、同一症状を呈する疾患の動向は把握できる。
- (3)病原微生物検出情報(月報)には、地方衛生研究所で検査され、ノロウイルスであることが確認されたものが集計されている(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)。散发例およびウイルスに起因する集団発生からのノロウイルス検出が捉えられている。

これらのデータはいずれも、日本ではノロウイルス感染症が12月から3月をピークにして全国的に流行していることを示している。

表1. ノロウイルスによる食中毒の年別報告

	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
事件数(件)	245	269	268	278	277	274
患者数(人)	8,080	7,358	7,961	10,603	12,537	8,727
死者数(人)	0	0	0	0	0	0

ノロウイルスに関するQ&A(厚生労働省:平成18年12月26日)より転用

表2. ノロウイルスによる食中毒の年別・月別報告

(上段:事件数(件)、下段:患者数(人))

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成12年	70 1,846	45 1,163	45 1,541	13 410	4 424	4 133	3 60	0 0	3 41	3 264	10 563	45 1,635
平成13年	87 1,747	72 1,485	25 807	9 465	7 150	5 149	2 43	0 0	1 11	5 120	14 799	42 1,582
平成14年	61 1,805	62 1,325	37 1,662	12 200	9 298	11 252	2 76	1 10	1 5	3 213	13 553	56 1,562
平成15年	62 2,758	63 1,695	41 1,589	17 790	9 424	3 91	2 72	0 0	2 30	1 20	13 1,149	65 1,985
平成16年	40 1,656	32 1,305	48 2,001	23 1,007	17 613	14 516	4 483	1 27	2 41	4 48	9 373	83 4,467
平成17年	91 3,030	34 560	25 786	19 827	8 253	7 355	2 17	1 9	4 51	6 378	18 577	59 1,884

ノロウイルスに関するQ&A(厚生労働省:平成18年12月26日)より転用

病原体

ノロウイルスはサポウイルス(Sapovirus;旧名称 sapporo-like viruses : SLV)と並ぶカリシ(ラテン語:コップを意味する)ウイルス科の属名である。

ウイルス粒子を電子顕微鏡で見たときに、その表面にコップ状の窪んだ構造が観察されることがカリシウイルス命名の由来となっている。図1にノロウイルスの電子顕微鏡像を示した。直径が38ナノメートルの正二十面体である。プロトタイプは1968年に米国オハイオ州ノーウォークの小学校で発生した集団胃腸炎から検出され、1972年に免疫電子顕微鏡下でその形態が明らかになったノーウォークウイルス/68(NV/68)である。以来、形態学的にNV/68と区別できないが抗原的に異なる株は、発見された地名を冠して、たとえばスノーマウンテンウイルス、メキシコウイルス、わが国でも音更(おとふけ)因子、チバウイルスなどと命名されてきた。ノロウイルスは培養細胞や実験動物への感染がいまだに成功していないウイルスで、ヒトが唯一の感受性動物であるといつてよい。現在、ノロウイルスに属するウイルスはGenogroup I(GI)とGenogroup II(GII)

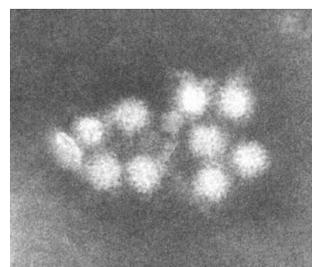


図1. ノロウイルスの電子顕微鏡像(埼玉県衛生研究所 篠原先生撮影)

直径は約38ナノメートルである。

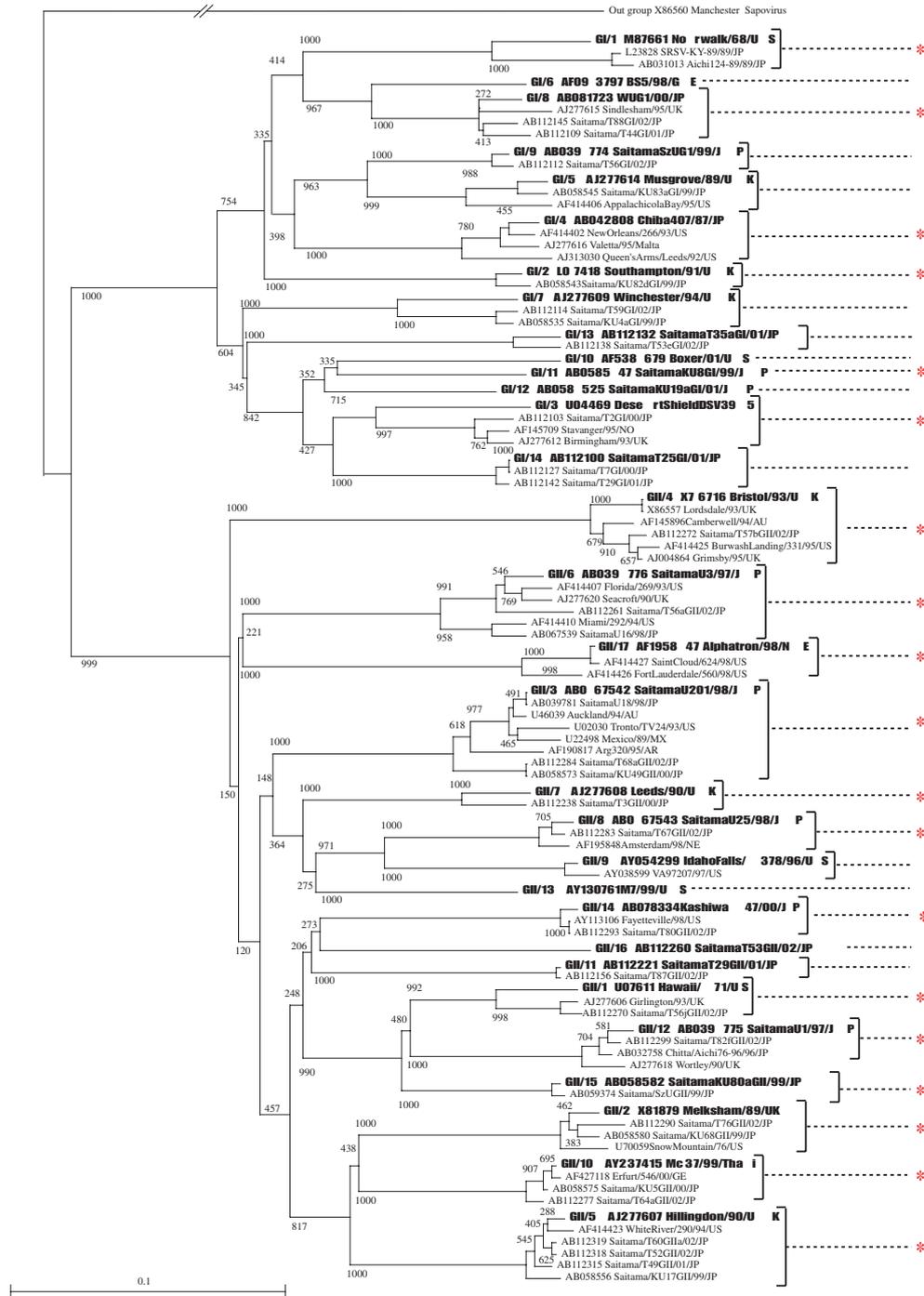


図2. ノロウイルスの構造蛋白全領域に基づく系統樹

RT-PCRプライマー-G1SKF & G1SKR, G2SKF & G2SKRによって増幅される領域のうち、プライマーの部分を除いた253塩基をDDBJ (<http://www.ddbj.nig.ac.jp/Welcom-j.html>)のclustalWを用いてアライメントし、Kimura 2-parameterで遺伝学的距離を算出した。分岐点検定のためブートストラップ検定は1000回を行い、950以上を統計学的に有意な分岐とした。系統樹はclustalWの値に基づき、Njplot (<http://pbil.univ-lyon1.fr/software/njplot.html>)で作成した。遺伝子型別はKatayamaら (Viology 299, p225-239, 2002)の方法に基づいて行い、遺伝子型番号についてはFields VIROLOGYの第4版に従った。*印は、VLPと免疫血清を用いたEIAで、相互に抗原性が異なることを確認済みの遺伝子型である(国立感染症研究所、名取)。

の2つの遺伝子群に分類され、さらにそれぞれは14と17あるいはそれ以上の遺伝子型 (genotype) に分類される。また、各遺伝子型に対応した血清型があると考えられ、極めて多様性を持った集団として存在する。図2に構造蛋白コード領域の上流部分約250塩基の塩基配列に基づいて作成した系統樹を示した。この領域は、後述するノロウイルス検出用RT-PCRプライマーG1SKF & G1SKR, G2SKF & G2SKRによって増幅されるPCR増幅産物の、プライマー部分を除いた領域である。GI, GIIに含まれる遺伝子型番号は欧米の研究者らと協議の上、Fields VIROLOGYの第4版に従ってナンバリングした。「病原微生物検出情報 Vol.24 No.12, p.5」に掲載済みの系統樹と番号が異なる遺伝子型があるが、今後の混乱を防ぐ意味でも、今後は本報のナンバリングに従っていただきたい。その方が、海外の研究者との情報交換もスムーズにいくと思われる。

臨床症状

ノロウイルスのボランティアへの投与試験の結果から、潜伏期は1～2日であると考えられている。嘔気、嘔吐、下痢が主症状であるが、腹痛、頭痛、発熱、悪寒、筋痛、咽頭痛、倦怠感などを伴うこともある。特別な治療を必要とせず軽快するが、乳幼児や高齢者およびその他、体力の弱っている者での嘔吐、下痢による脱水や窒息には注意をする必要がある。ウイルスは、症状が消失した後も3～7日間ほど患者の便中に排出されるため、2次感染に注意が必要である。ボランティアのバイオプシー由来の腸管組織を病理組織学的に観察した結果から、ノロウイルスはヒトの空腸の上皮細胞に感染して繊毛の委縮と扁平化、さらに剥離と脱落を引き起こして下痢を生じると考えられている。しかしながら、このような現象がどのようなメカニズムによるものなのか、その詳細はまだ不明である。

病原診断

ノロウイルスの検出はあくまでも電子顕微鏡による観察が基本であるが、対象が患者糞便に限られるのが難点である。現在に至ってもウイルスの培養が出来ず、本法がノロウイルス検出の基本であるが、この方法で検出するには 10^6 個/ml以上のウイルス粒子が必要であるので、感度は低い。また、形態学的にノロウイルスが観察できても、ノロウイルスであることを同定できるわけではない。

前述した様にノロウイルスは、培養細胞で再現性良く増殖させることができない。これがネックとなり、ノロウイルスに関する基礎的な研究は遅れていた。しかし、ここ数年で20株を超えるノロウイルスのゲノム全塩基配列が決定され、ウイルスゲノムが詳細に解析されたことにより、新たな診断法が開発された。一つは、ゲノムの中で最も高度に保存された領域を標的としたリアルタイムRT-PCRシステムの構築である(図3)。この方法により、ノロウイルスゲノムを超高感度に定量測定することが可能となった。

もう一つは、ウイルス様粒子(VLP)を用いた抗原検出システムの構築である。ノロウイルスゲノムの構造蛋白質領域をバキュロウイルスに組み込み、昆虫細胞で発現させると、ウイルス粒子と酷似したVLPを作出できることが明らかにされた(図4)。VLPは構造がノロウイルスそのものであり、ウイルス粒子と同等の抗原性を有するが、内部にゲノムRNAを持たず、中空で感染性はない。現在、互いに抗原性の異なると予想されるノロウイルスは30種類以上になろうとしているが、その約60%をカバーするVLPの作出に成功している。これらのVLPをウサギに免疫して得たポリクローナル抗体を用いて構築したEIAキットが、前述の抗原検出システムである。このキットによ

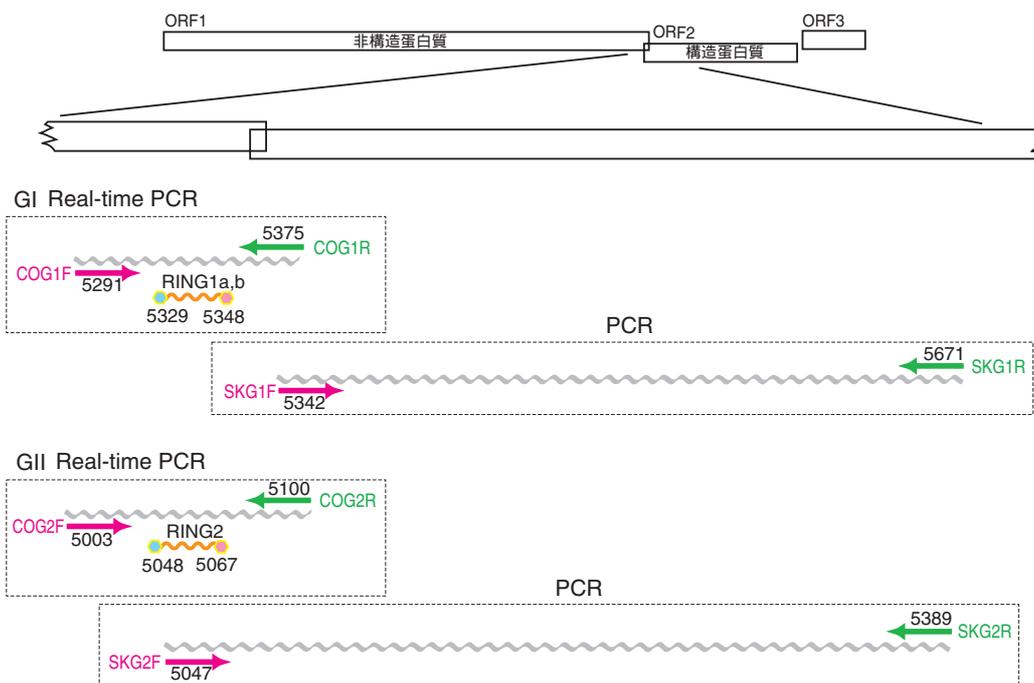


図3. ノロウイルスの遺伝子構造と増幅のためのプライマー

ノロウイルスはORF1-3の三つのオープンリーディングフレームをもつ。RT-PCRによる遺伝子増幅には、ノロウイルスゲノムの中で最も高度に保存されている領域ORF1とORF2の境界付近の超高感度定量検出用(リアルタイムPCR)プライマーセットと、ORF2にコードされる構造蛋白質領域のPCR用プライマーが使用されている。図にはプライマーの5末端の塩基の位置をGIはNorwalk/68(M87661)、GIIはLordsdale/93/UK (X86557)の塩基番号で示した。

り、特殊な機器を必要としない迅速かつ簡便な抗原検出が可能となった。しかし、ノロウイルスの新しい遺伝子型が現在もなお発見され続けており、これらに対応するためには、新たなVLPの作出と抗体の作製を継続しなければならない。

治療・予防

感染者より排泄された糞便および吐物は、感染性のあるものとして注意が必要である。下水より汚水処理場に至ったウイルスの一部は浄化処理をかいぐり、河川に排出され、海でカキなどの二枚貝類の中で濃縮される。汚染されたこれらの貝類を生のまま、あるいは十分加熱しないまま食べると、再びウイルスは人体に戻り、感染を繰り返す。一般に、加熱した食品であればウイルスは完全に失活するので問題はないが、サラダなど加熱調理しないで食する食材が感染源となる。例えば、汚染された貝類を調理した手や包丁・まな板な

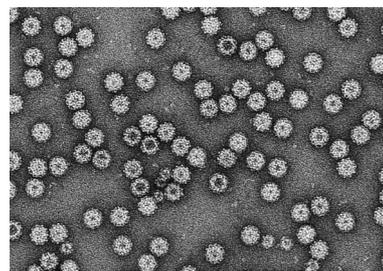


図4. 組換えバキュロウイルスで作製したVLPの電子顕微鏡像

遺伝子が入っていないので中央が黒く見えているものがある。いずれも中空の粒子で、ネイティブなノロウイルスと同じ38ナノメートルの直径を有する。

どから、生食用の食材に汚染が広がる可能性がある。また最近の報告では、ノロウイルスの感染者を看護や世話をする機会に、患者の吐物、便などから直接感染するヒト ヒト間の感染があることも明らかにされている。

糞口感染するウイルスであるので、食品衛生上の対策としては、食品の取り扱いに際して入念な手洗いなど衛生管理を徹底すること、食品取扱者には啓発、教育を十分に行う事が大切である。

身近な感染防止策として手洗いの励行は重要である。また吐物など、ウイルスを含む汚染物の処理にも注意が必要である。粒子は胃液の酸度(pH3)や飲料水に含まれる程度の低レベルの塩素には抵抗性を示す。また温度に対しては、60 程度の熱には抵抗性を示す。したがってウイルス粒子の感染性を奪うには、次亜塩素酸ナトリウムなどで消毒するか、85 以上で少なくとも1分以上加熱する必要があるとされている。

治療としてはノロウイルスの増殖を抑える薬剤はなく、整腸剤や痛み止めなどの対症療法のみである。

ノロウイルスに関するQ & A(厚生労働省 : 平成18年12月26日 : <http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html>)、国立感染研究所感染症情報センターホームページ「ノロウイルス感染症」(<http://idsc.nih.go.jp/disease/norovirus/index.html>)に詳細が記されている。

感染症法における取り扱い

感染性胃腸炎は5類感染症定点把握疾患に定められており、全国約3,000カ所の小児科定点より毎週報告がなされている。報告のための基準は以下の通りとなっている。

18 感染性胃腸炎

(1) 定義

細菌又はウイルスなどの感染性病原体による嘔吐、下痢を主症状とする感染症である。原因はウイルス感染(ロタウイルス、ノロウイルスなど)が多く、毎年秋から冬にかけて流行する。また、エンテロウイルス、アデノウイルスによるものや細菌性のものもみられる。

(2) 臨床的特徴

乳幼児に好発し、1歳以下の乳児は症状の進行が早い。

主症状は嘔吐と下痢であり、種々の程度の脱水、電解質喪失症状、全身症状が加わる。嘔吐又は下痢のみの場合や、嘔吐の後に下痢がみられる場合と様々で、症状の程度にも個人差がある。37 ~ 38 の発熱がみられることもある。年長児では吐き気や腹痛がしばしばみられる。

(3) 届出基準

ア 患者(確定例)

指定届出機関の管理者は、当該指定届出機関の医師が、(2)の臨床的特徴を有する者を診察した結果、症状や所見から感染性胃腸炎が疑われ、かつ、(4)により、感染性胃腸炎患者と診断した場合には、法第14条第2項の規定による届出を週単位で、翌週の月曜日に届け出なければならない。

イ 感染症死亡者の死体

指定届出機関の管理者は、当該指定届出機関の医師が、(2)の臨床的特徴を有する死体を検察した結果、症状や所見から、感染性胃腸炎が疑われ、かつ、(4)により、感染性胃腸炎によ

り死亡したと判断した場合には、法第14条第2項の規定による届出を週単位で、翌週の月曜日に届け出なければならない。

(4)届出のために必要な臨床症状及び要件(2つすべてを満たすもの)

- | |
|------------------------------|
| ア 急に発症する腹痛(新生児や乳児では不明) 嘔吐、下痢 |
| イ 他の届出疾患によるものを除く |

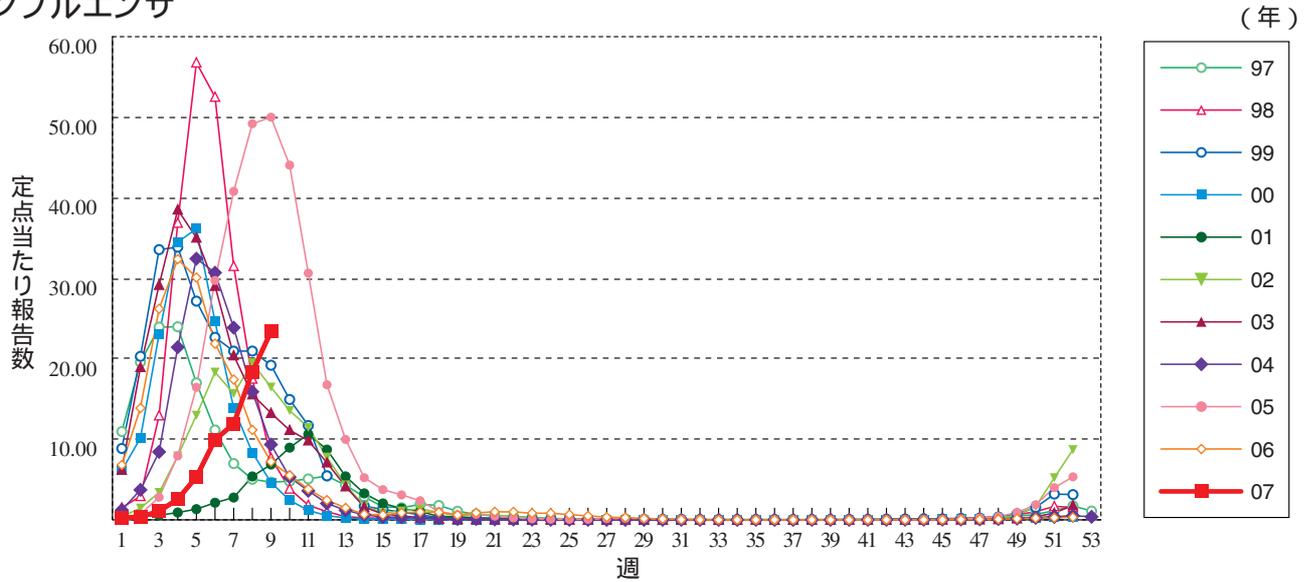
食品衛生法での取り扱い

食中毒が疑われる場合は、24時間以内に最寄りの保健所に届け出る。

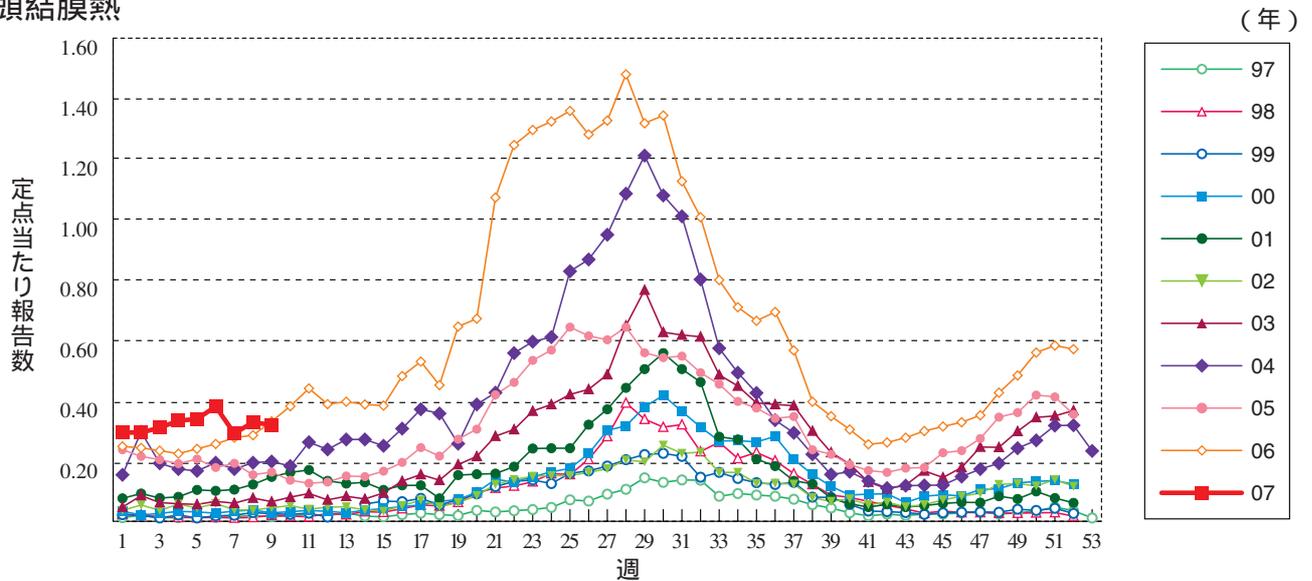
(国立感染症研究所ウイルス第二部 片山和彦、同感染症情報センター 岡部信彦)

グラフ総覧(9週)

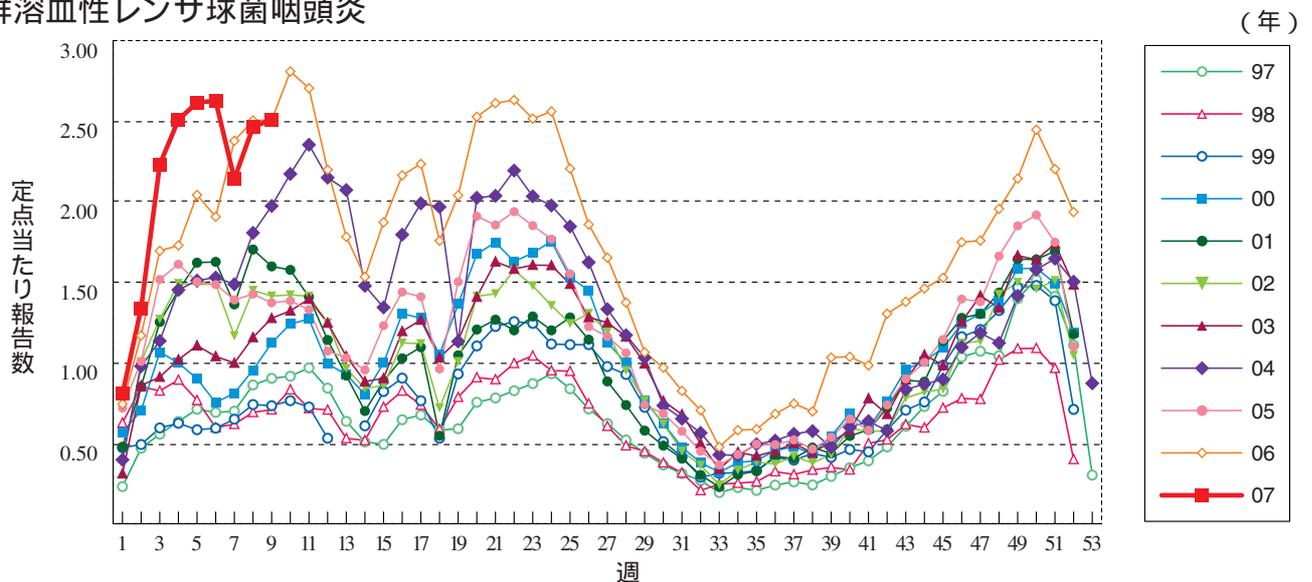
インフルエンザ



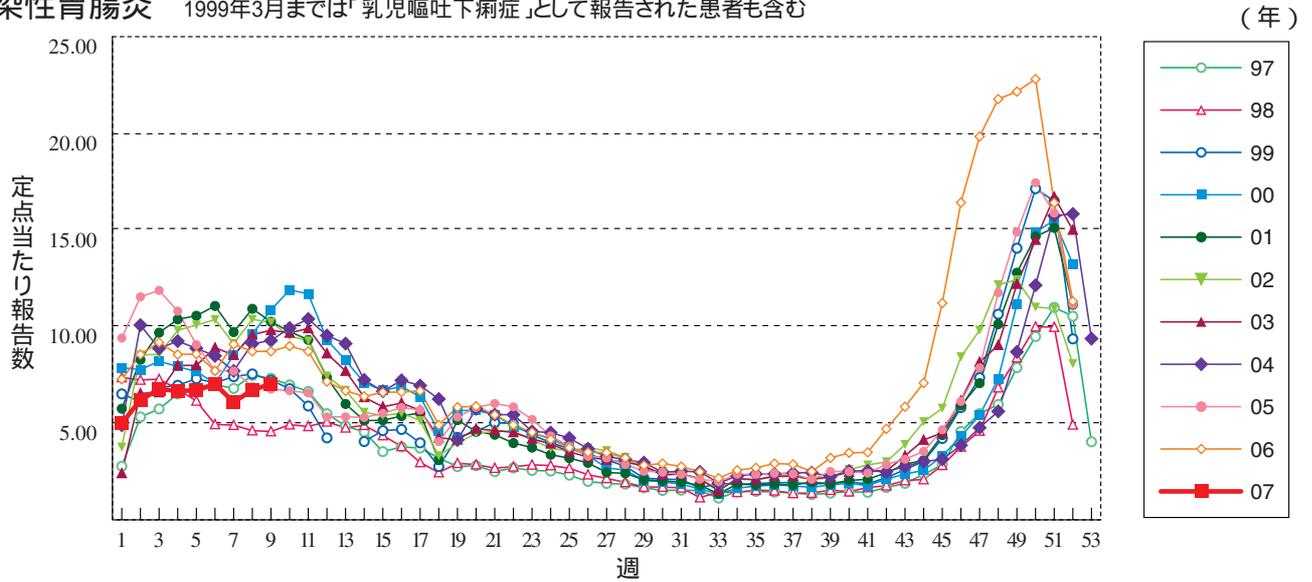
咽頭結膜熱



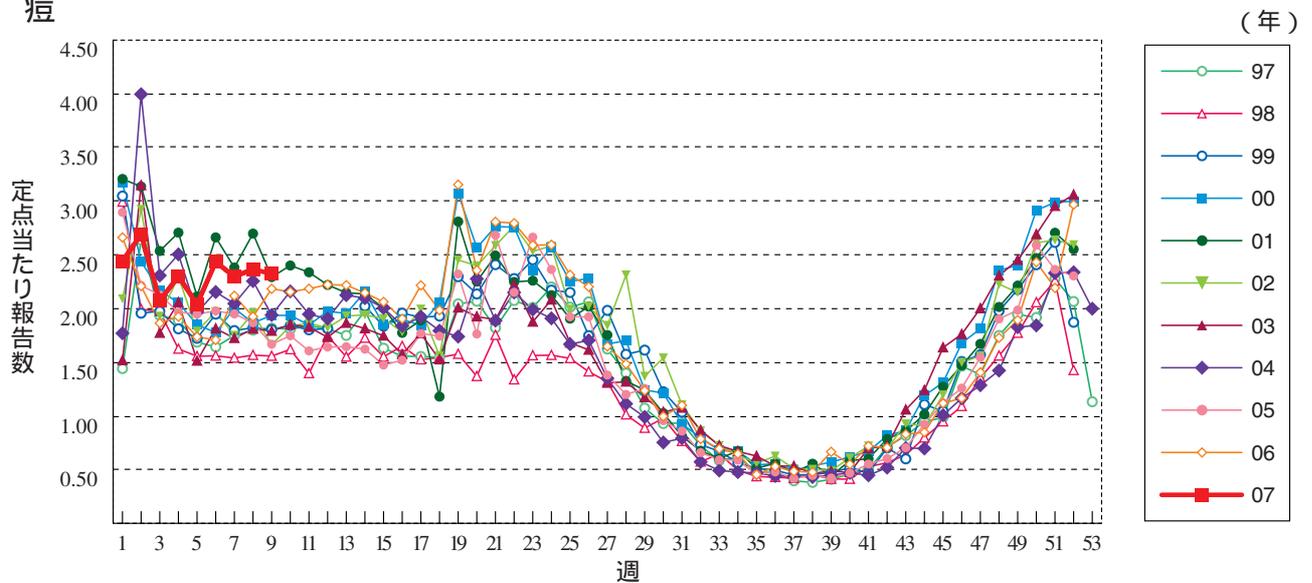
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



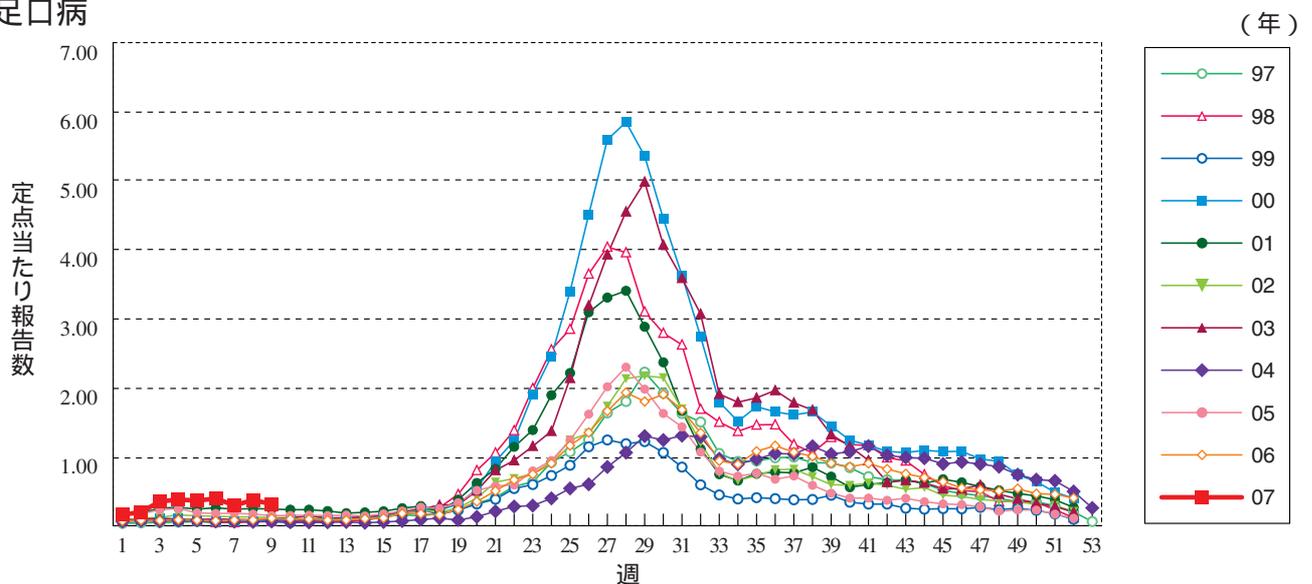
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



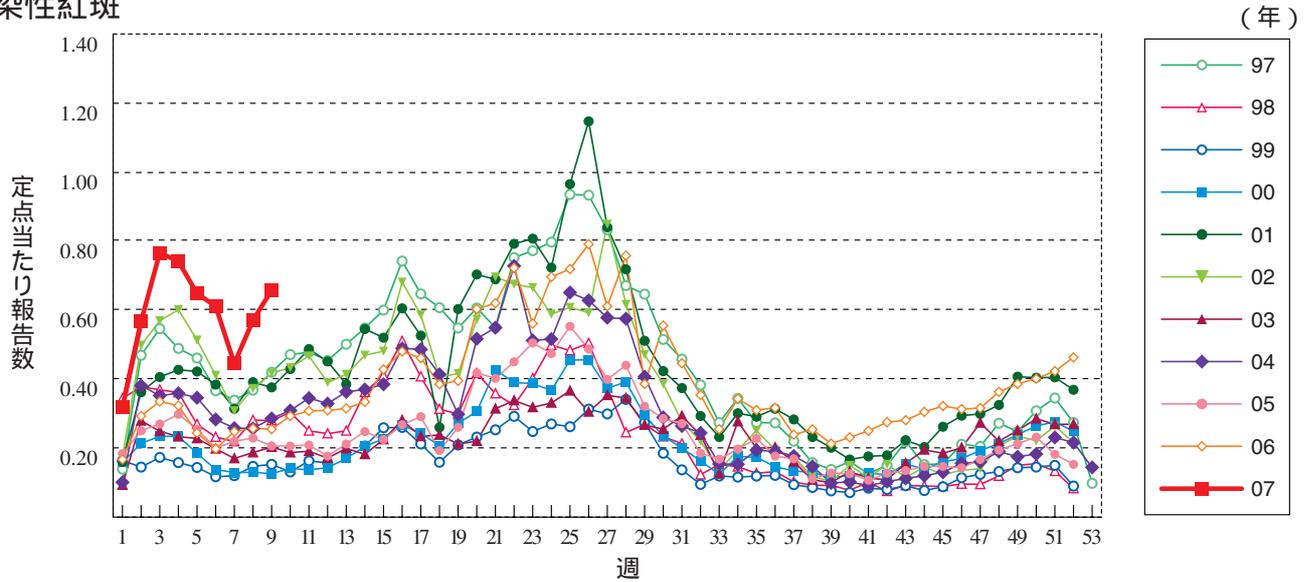
水痘



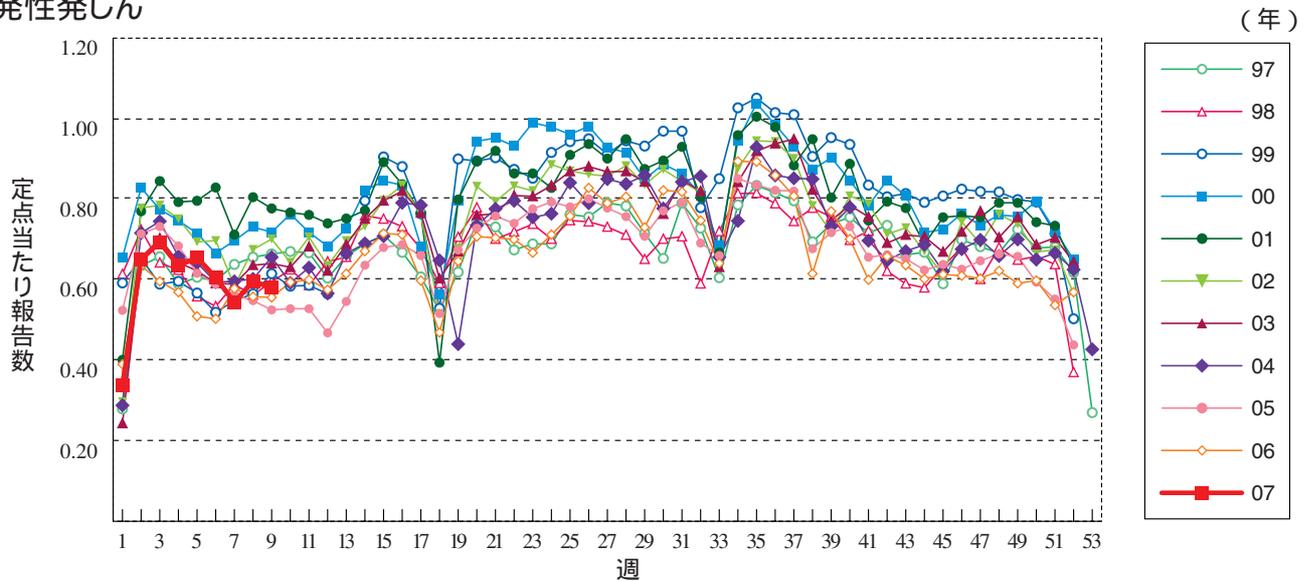
手足口病



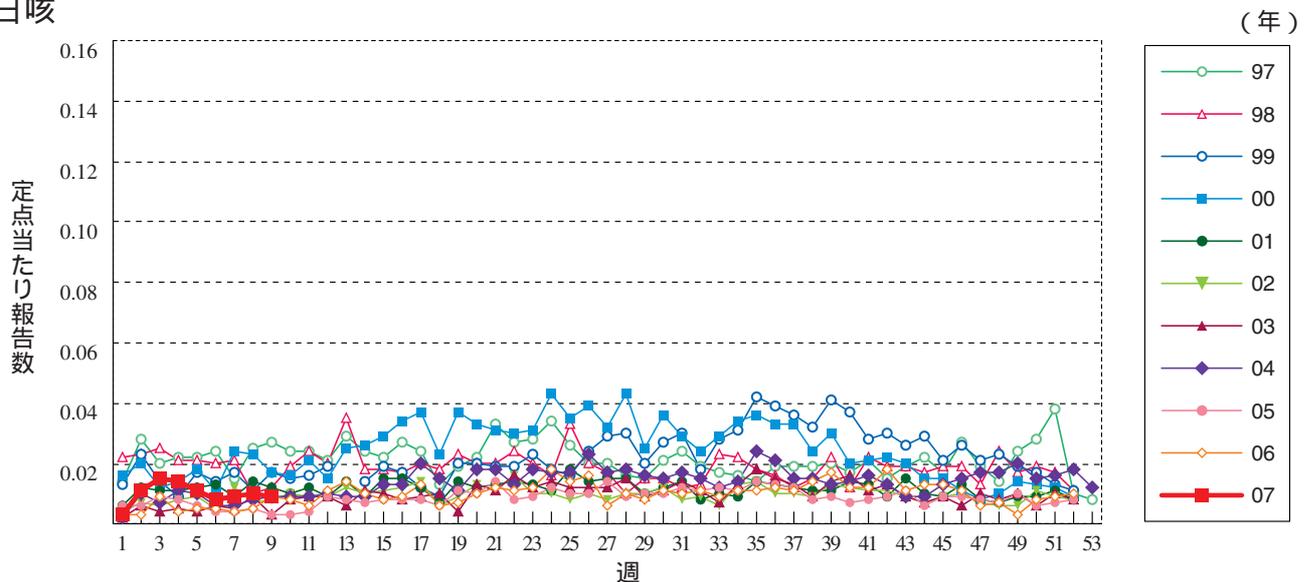
伝染性紅斑



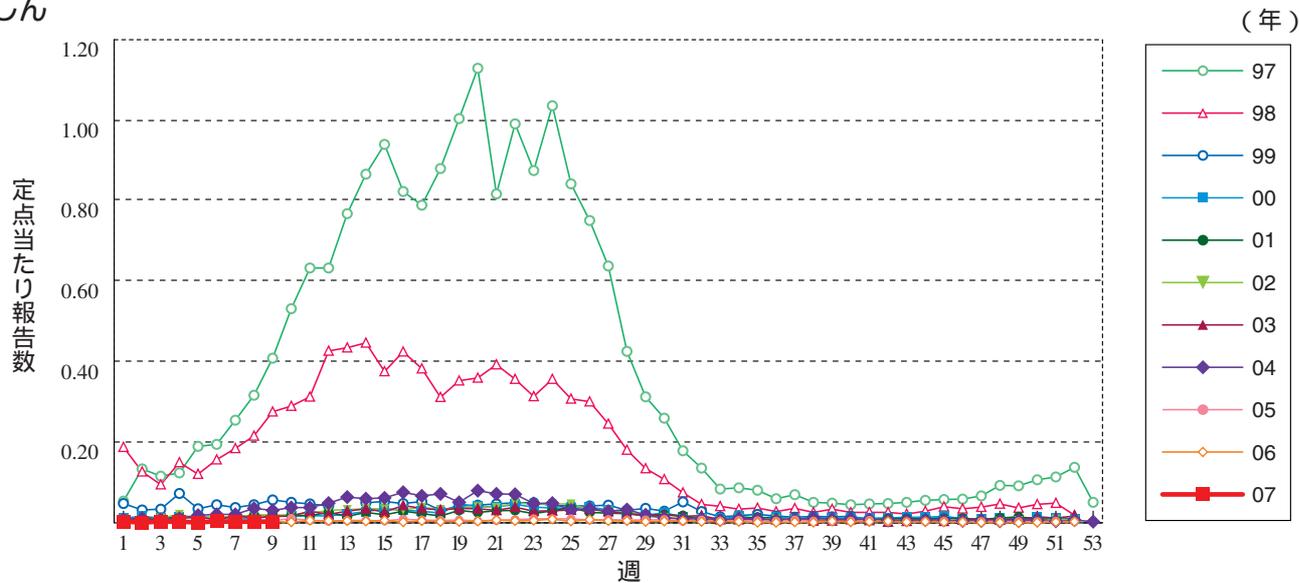
突発性発しん



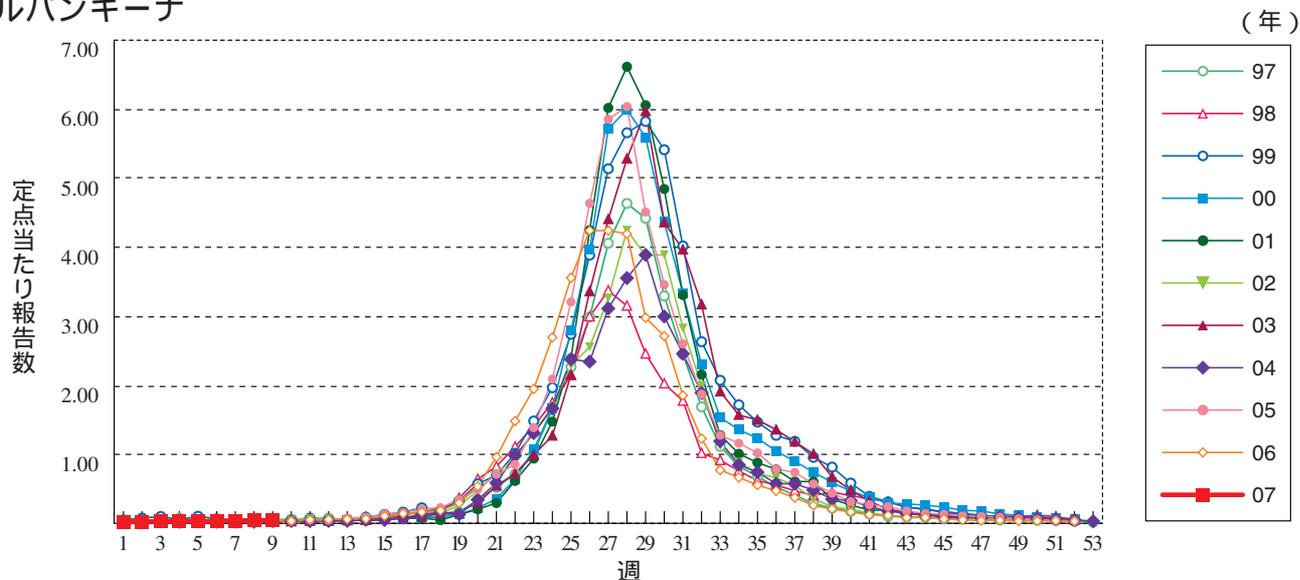
百日咳



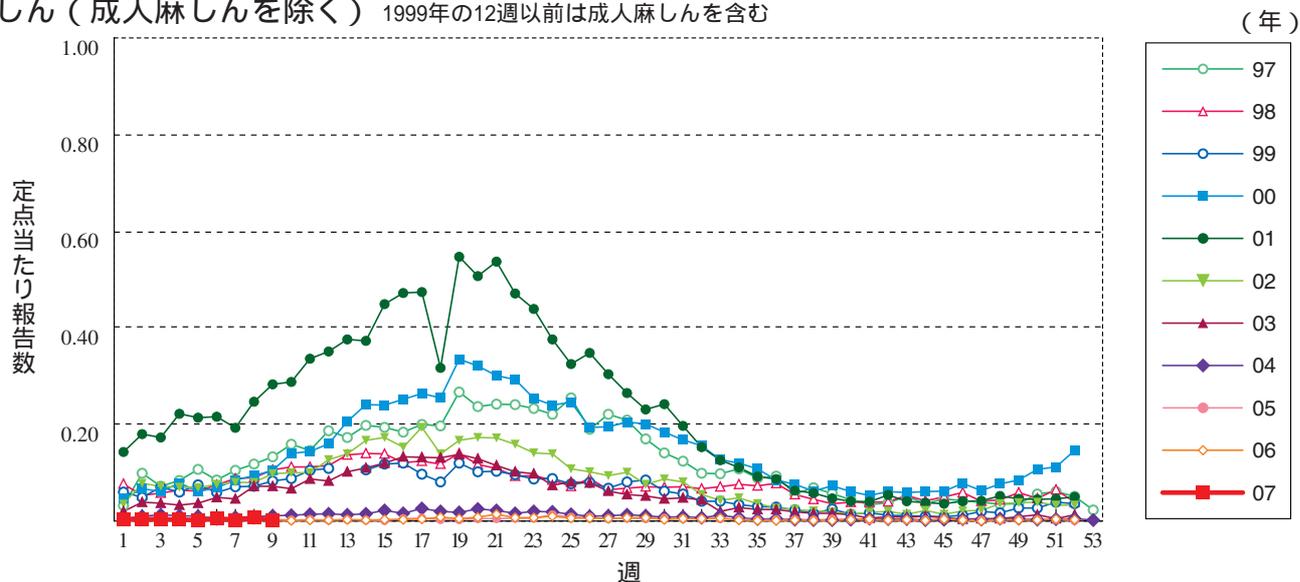
風しん



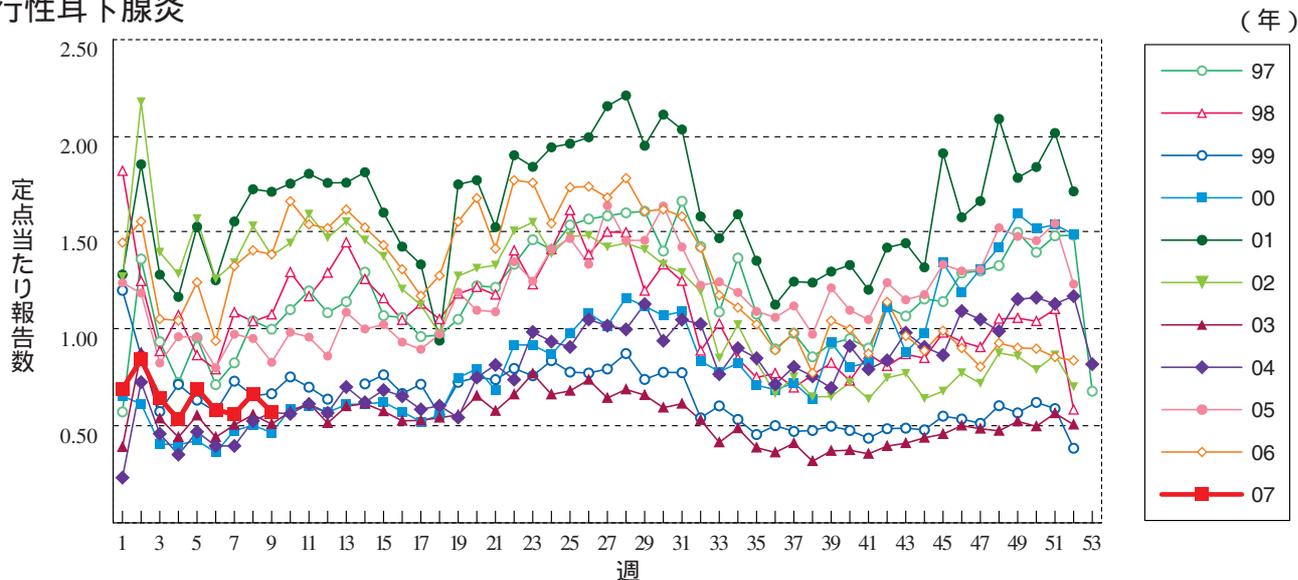
ヘルパンギーナ



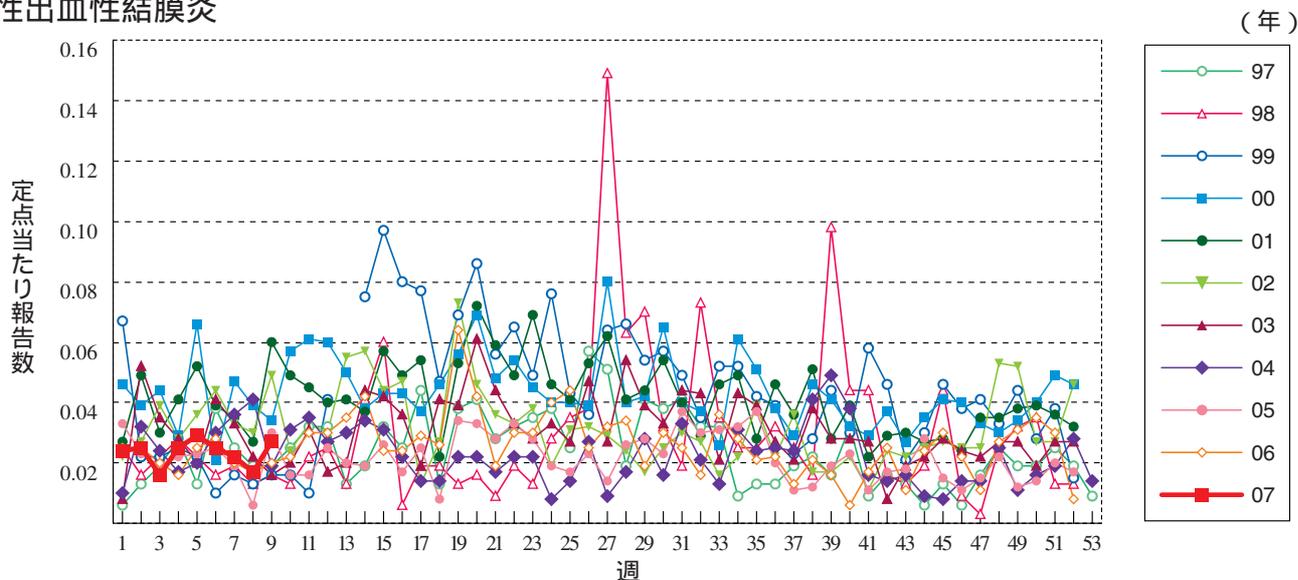
麻しん (成人麻しんを除く) 1999年の12週以前は成人麻しんを含む



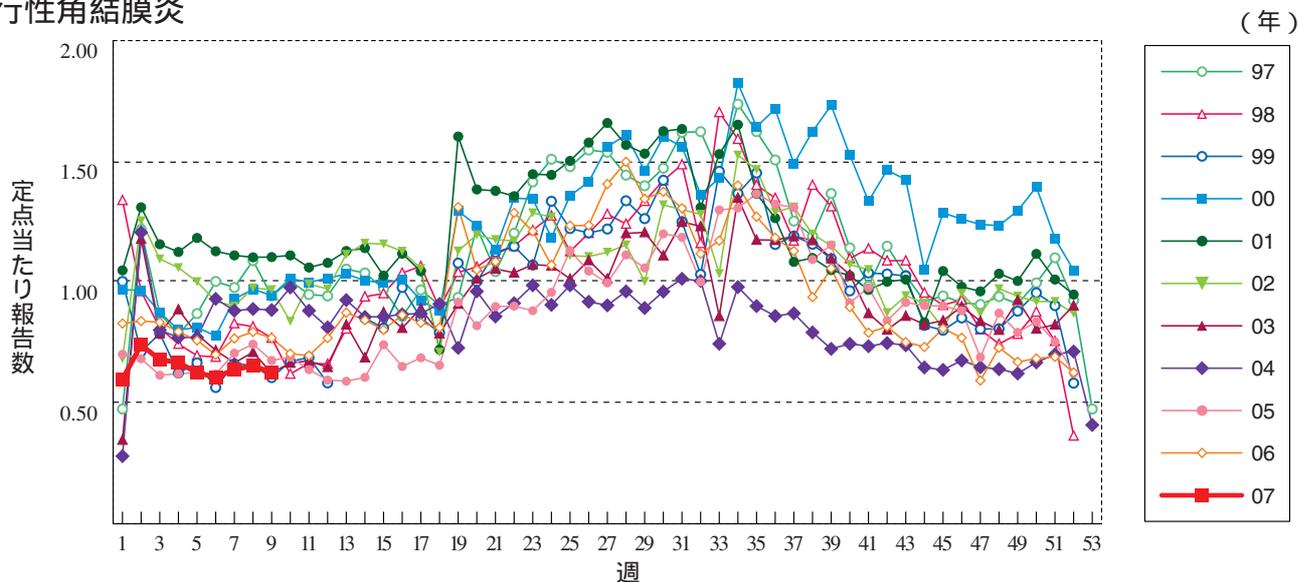
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

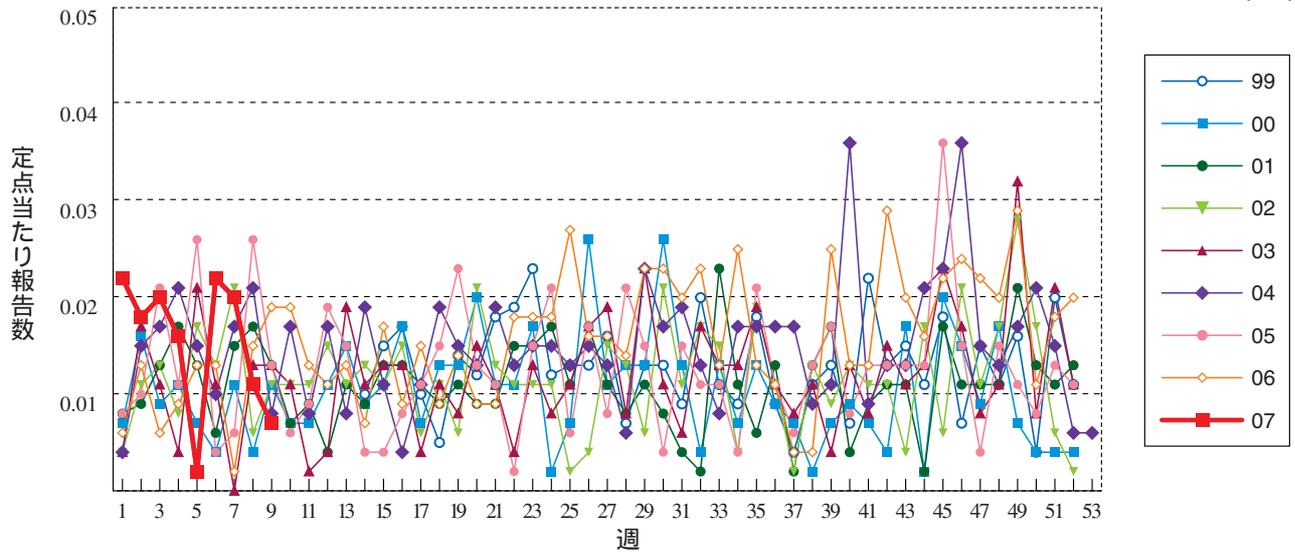


流行性角結膜炎



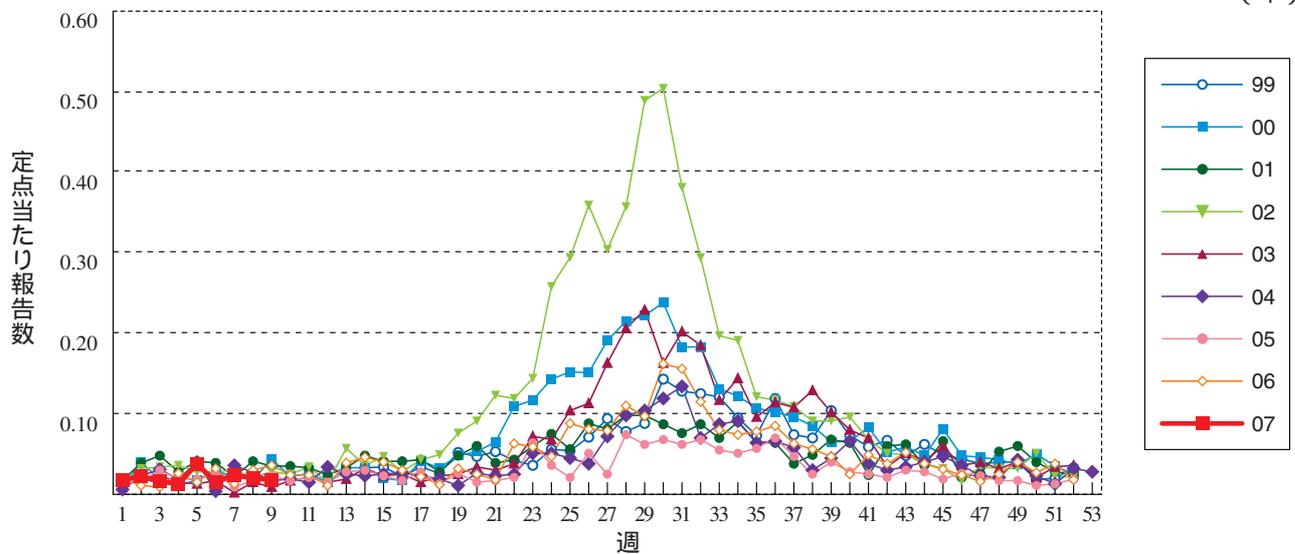
細菌性髄膜炎

(年)



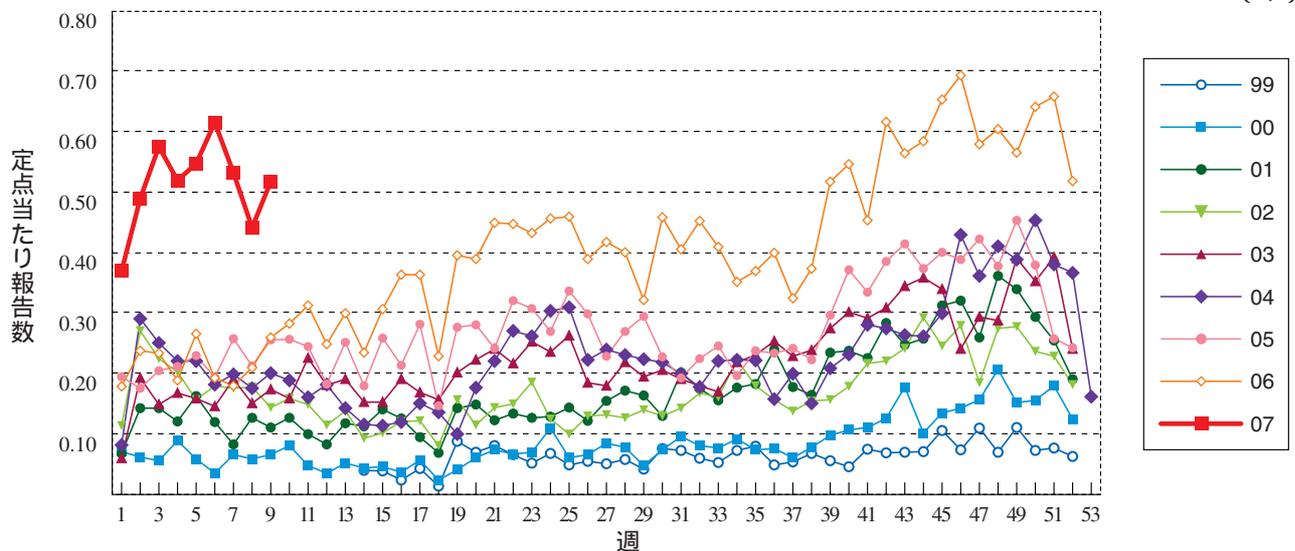
無菌性髄膜炎

(年)



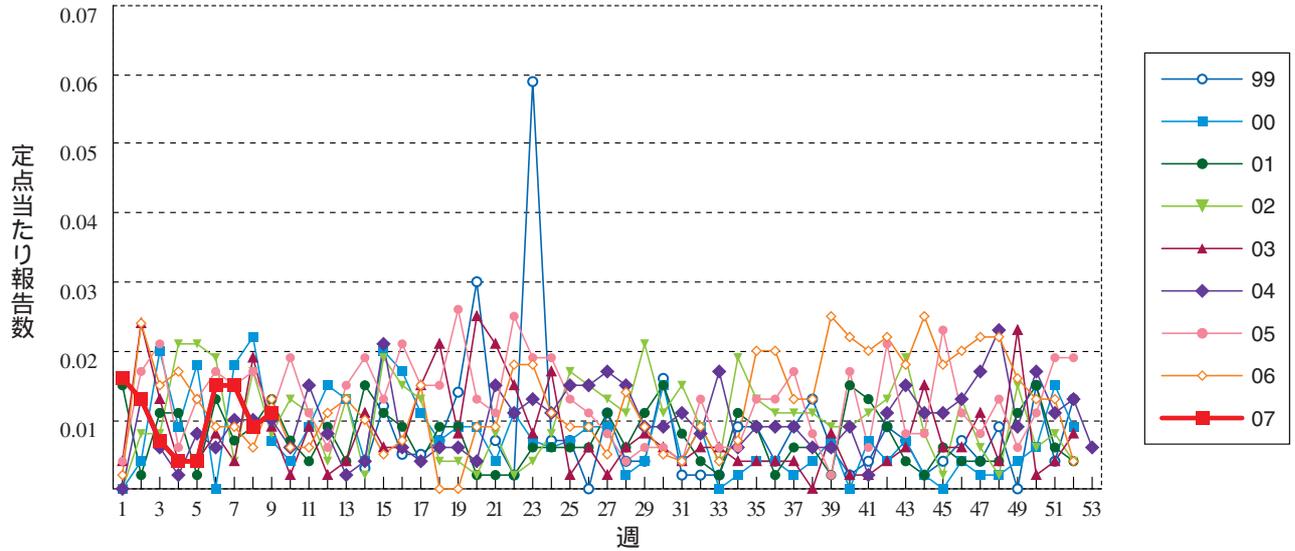
マイコプラズマ肺炎

(年)



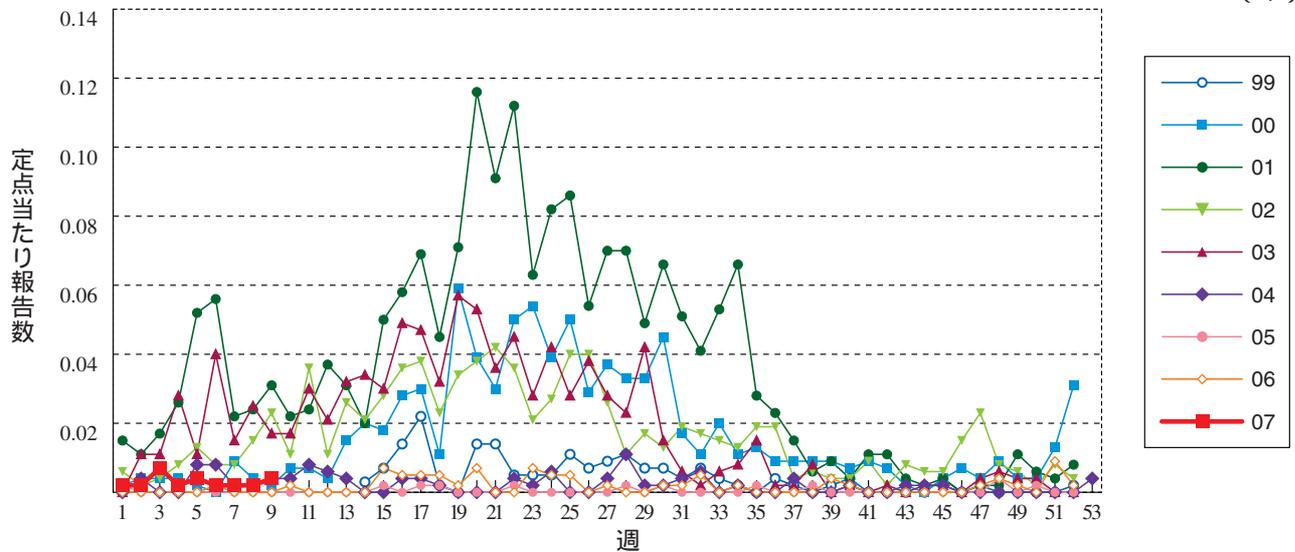
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



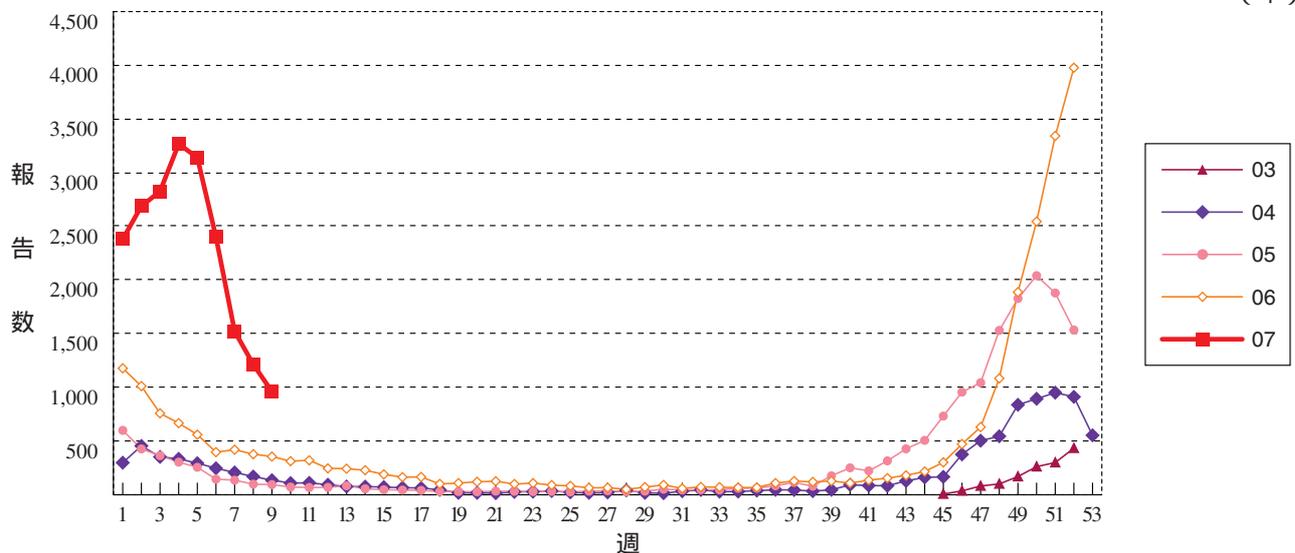
成人麻しん

(年)



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。

(年)





9週のデータ

注1) 表中の報告数は3月8日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。

2006年4月からの報告システムの変更に伴い、疾病の並び順を一部変更しました。

注2) また報告システム変更の影響により、ここの「累積」においては漏れている報告例もありますが、近いうちにそれらも反映する予定です。

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2007年9週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		重症急性呼吸器症候群*		痘 そう		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		コレラ		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年9週

	細菌性赤痢		ジフテリア		腸チフス		パラチフス		腸管出血性大腸菌感染症		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		エキノコックス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	10	92	-	-	2	5	-	4	17	123	-	7	-	-	1	35	-	2
北海道	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	2	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	4	17	-	-	-	-	-	1	5	7	-	-	-	-	-	1	-	-
東京都	3	14	-	-	1	1	-	1	-	3	-	1	-	-	-	7	-	1
神奈川県	1	5	-	-	-	-	-	-	1	4	-	1	-	-	-	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	4	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	8	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-	-	1	-	-
大阪府	2	26	-	-	-	1	-	1	1	11	-	-	-	-	-	3	-	-
兵庫県	-	3	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	3	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	-
広島県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	1	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	1	1	-	-
佐賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年9週

	黄熱		オウム病		回帰熱		Q熱		狂犬病		高病原性鳥インフルエンザ		コクシジオイデス症		サル痘		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	1	4	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年9週

	炭 疽		つつが虫病		デング熱		ニパウイルス 感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	1	36	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	9	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年9週

	発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス感染症		レジオネラ症		レプトスピラ症		アメーバ赤痢	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	1	1	4	-	-	-	-	-	-	9	64	-	1	9	118
北海道	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	3
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	4
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	1	5
東京都	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	27
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2	13
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	3
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	1	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	-	-	1	10
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	6
大阪府	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	12
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	7
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	-	-	-	4
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。
 **ウエストナイル脳炎および日本脳炎を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年9週

	ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	24	1	29	-	1	2	24	-	20	16	207	-	8	-	1	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	4	-	-	-	2	-	1	1	9	-	-	-	-	-	-
東京都	-	7	-	-	-	-	-	1	-	-	5	65	-	3	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	1	-	-	-	-	3	-	20	-	1	-	-	-	-	-
新潟県	-	1	-	1	-	1	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	2	21	-	-	-	1	-	-
三重県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	4	-	5	-	-	-	1	-	1	4	27	-	3	-	-	-	-
兵庫県	-	2	1	1	-	-	-	1	-	1	1	3	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	1	2	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	2	-	2	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年9週

	梅 毒		破 傷 風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症		インフルエンザ (H5N1)	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	8	77	1	9	-	-	1	16	-	-
北海道	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
茨城県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	2	11	-	-	-	-	-	4	-	-
神奈川県	1	2	-	-	-	-	-	3	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	2	-	1	-	-	-	1	-	-
静岡県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
愛知県	2	8	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	5	-	1	-	-	-	2	-	-
兵庫県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	5	-	-	-	-	1	3	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-
大分県	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

*高病原性鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2007年9週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	112057	23.37	964	0.32	7590	2.51	21250	7.03	7026	2.32	952	0.31	1990	0.66	1754	0.58	28	0.01
北海道	5002	21.94	70	0.49	709	4.96	339	2.37	217	1.52	12	0.08	164	1.15	79	0.55	-	-
青森県	519	7.98	43	1.02	123	2.93	155	3.69	47	1.12	2	0.05	38	0.90	18	0.43	1	0.02
岩手県	820	13.02	3	0.08	62	1.59	135	3.46	70	1.79	8	0.21	48	1.23	6	0.15	-	-
宮城県	1972	19.92	23	0.38	109	1.79	456	7.48	112	1.84	1	0.02	98	1.61	31	0.51	-	-
秋田県	1057	19.22	20	0.57	85	2.43	178	5.09	52	1.49	5	0.14	34	0.97	17	0.49	-	-
山形県	1374	28.63	28	0.93	95	3.17	169	5.63	87	2.90	9	0.30	14	0.47	20	0.67	-	-
福島県	2012	25.15	19	0.40	161	3.35	352	7.33	94	1.96	6	0.13	16	0.33	33	0.69	1	0.02
茨城県	2115	17.63	22	0.29	242	3.23	406	5.41	172	2.29	24	0.32	30	0.40	23	0.31	1	0.01
栃木県	1147	15.71	3	0.06	125	2.66	176	3.74	63	1.34	2	0.04	30	0.64	36	0.77	2	0.04
群馬県	2454	24.54	8	0.13	233	3.76	398	6.42	139	2.24	6	0.10	40	0.65	44	0.71	-	-
埼玉県	6561	25.53	64	0.40	466	2.89	1401	8.70	466	2.89	37	0.23	120	0.75	92	0.57	-	-
千葉県	5255	25.26	32	0.25	403	3.10	740	5.69	284	2.18	40	0.31	81	0.62	79	0.61	3	0.02
東京都	5470	19.54	18	0.13	317	2.25	840	5.96	196	1.39	11	0.08	60	0.43	76	0.54	-	-
神奈川県	7669	23.74	61	0.30	504	2.50	1654	8.19	429	2.12	22	0.11	96	0.48	148	0.73	2	0.01
新潟県	2944	30.67	30	0.49	307	5.03	380	6.23	159	2.61	3	0.05	55	0.90	34	0.56	-	-
富山県	924	19.25	29	1.00	198	6.83	284	9.79	78	2.69	3	0.10	114	3.93	23	0.79	-	-
石川県	1045	21.77	22	0.76	92	3.17	179	6.17	49	1.69	-	-	55	1.90	11	0.38	-	-
福井県	1216	38.00	18	0.82	48	2.18	264	12.00	41	1.86	7	0.32	17	0.77	17	0.77	-	-
山梨県	684	17.10	3	0.13	74	3.08	130	5.42	24	1.00	-	-	8	0.33	10	0.42	-	-
長野県	2672	30.71	27	0.50	107	1.98	318	5.89	85	1.57	9	0.17	80	1.48	26	0.48	1	0.02
岐阜県	1645	18.91	11	0.21	53	1.00	230	4.34	64	1.21	1	0.02	36	0.68	21	0.40	2	0.04
静岡県	2246	16.64	14	0.16	253	2.94	808	9.40	256	2.98	1	0.01	94	1.09	60	0.70	-	-
愛知県	6142	31.66	55	0.30	311	1.72	1231	6.80	321	1.77	28	0.15	136	0.75	91	0.50	1	0.01
三重県	2948	40.38	13	0.29	122	2.71	346	7.69	106	2.36	9	0.20	32	0.71	30	0.67	1	0.02
滋賀県	1486	28.04	4	0.13	23	0.72	128	4.00	86	2.69	3	0.09	14	0.44	11	0.34	-	-
京都府	2590	20.89	3	0.04	85	1.13	313	4.17	83	1.11	11	0.15	43	0.57	20	0.27	1	0.01
大阪府	8307	28.84	50	0.26	403	2.13	1309	6.93	429	2.27	21	0.11	96	0.51	103	0.54	2	0.01
兵庫県	4698	23.61	20	0.16	218	1.69	930	7.21	315	2.44	20	0.16	61	0.47	64	0.50	3	0.02
奈良県	1484	26.98	21	0.60	54	1.54	137	3.91	67	1.91	-	-	13	0.37	12	0.34	-	-
和歌山県	1045	20.90	3	0.10	48	1.55	286	9.23	149	4.81	2	0.06	15	0.48	24	0.77	-	-
鳥取県	627	21.62	8	0.42	92	4.84	132	6.95	41	2.16	9	0.47	2	0.11	15	0.79	-	-
島根県	498	13.11	16	0.70	45	1.96	188	8.17	60	2.61	6	0.26	4	0.17	12	0.52	-	-
岡山県	1070	13.21	13	0.24	66	1.22	346	6.41	112	2.07	17	0.31	14	0.26	22	0.41	1	0.02
広島県	2344	20.38	47	0.65	130	1.81	594	8.25	91	1.26	9	0.13	21	0.29	36	0.50	1	0.01
山口県	1373	19.61	16	0.33	145	2.96	479	9.78	126	2.57	4	0.08	24	0.49	33	0.67	-	-
徳島県	381	9.53	-	-	25	1.14	311	14.14	44	2.00	1	0.05	12	0.55	9	0.41	1	0.05
香川県	366	7.47	4	0.13	49	1.63	202	6.73	76	2.53	7	0.23	4	0.13	20	0.67	-	-
愛媛県	425	6.97	4	0.11	167	4.51	439	11.86	149	4.03	7	0.19	31	0.84	43	1.16	-	-
高知県	329	6.85	2	0.07	45	1.50	211	7.03	75	2.50	1	0.03	15	0.50	17	0.57	-	-
福岡県	8551	43.19	34	0.28	271	2.26	1273	10.61	385	3.21	103	0.86	35	0.29	91	0.76	3	0.03
佐賀県	881	22.59	21	0.91	45	1.96	154	6.70	86	3.74	38	1.65	7	0.30	24	1.04	-	-
長崎県	1129	16.13	5	0.11	44	1.00	479	10.89	126	2.86	72	1.64	11	0.25	21	0.48	-	-
熊本県	1442	18.03	12	0.25	108	2.25	596	12.42	133	2.77	80	1.67	6	0.13	45	0.94	-	-
大分県	1896	32.69	9	0.25	78	2.17	372	10.33	152	4.22	47	1.31	24	0.67	23	0.64	-	-
宮崎県	1895	32.12	16	0.44	118	3.28	444	12.33	179	4.97	147	4.08	26	0.72	32	0.89	-	-
鹿児島県	1443	15.52	17	0.30	96	1.71	260	4.64	267	4.77	94	1.68	11	0.20	38	0.68	-	-
沖縄県	1904	32.83	3	0.09	36	1.06	98	2.88	184	5.41	7	0.21	5	0.15	14	0.41	1	0.03

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2007年9週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	8	0.00	127	0.04	5	0.00	1737	0.57	17	0.03	400	0.63	3	0.01	8	0.02	234	0.52
北海道	-	-	1	0.01	-	-	65	0.45	-	-	6	0.21	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	4	0.10	-	-	68	1.62	-	-	5	0.45	-	-	-	-	11	1.83
岩手県	-	-	9	0.23	-	-	42	1.08	-	-	11	0.92	-	-	-	-	13	0.65
宮城県	-	-	3	0.05	1	0.02	60	0.98	2	0.17	3	0.25	-	-	-	-	11	0.92
秋田県	1	0.03	1	0.03	-	-	33	0.94	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	4	0.13	-	-	2	0.25	-	-	-	-	9	0.90
福島県	-	-	1	0.02	-	-	23	0.48	-	-	19	1.58	-	-	-	-	8	1.14
茨城県	-	-	-	-	-	-	8	0.11	1	0.06	22	1.38	-	-	-	-	4	0.36
栃木県	-	-	1	0.02	-	-	32	0.68	1	0.08	7	0.58	1	0.14	-	-	5	0.71
群馬県	-	-	2	0.03	-	-	44	0.71	1	0.07	12	0.86	-	-	-	-	10	1.25
埼玉県	-	-	2	0.01	2	0.01	65	0.40	1	0.03	23	0.58	-	-	-	-	8	0.89
千葉県	-	-	1	0.01	-	-	53	0.41	1	0.03	16	0.47	-	-	-	-	1	0.11
東京都	2	0.01	3	0.02	-	-	30	0.21	-	-	11	0.79	-	-	1	0.04	2	0.09
神奈川県	1	0.00	3	0.01	-	-	69	0.34	1	0.03	45	1.18	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	2	0.03	-	-	130	2.13	1	0.09	7	0.64	-	-	-	-	6	0.50
富山県	-	-	-	-	-	-	24	0.83	-	-	2	0.29	-	-	-	-	5	1.00
石川県	-	-	-	-	-	-	8	0.28	-	-	5	0.71	-	-	-	-	5	1.00
福井県	-	-	-	-	-	-	3	0.14	-	-	1	0.33	-	-	-	-	2	0.33
山梨県	-	-	-	-	-	-	7	0.29	-	-	1	0.11	-	-	-	-	1	0.10
長野県	-	-	1	0.02	1	0.02	25	0.46	-	-	4	0.36	-	-	1	0.09	5	0.45
岐阜県	-	-	2	0.04	-	-	18	0.34	-	-	4	0.40	-	-	-	-	3	0.60
静岡県	-	-	1	0.01	-	-	37	0.43	-	-	3	0.15	1	0.10	-	-	8	0.80
愛知県	1	0.01	1	0.01	1	0.01	77	0.43	-	-	9	0.26	1	0.08	-	-	6	0.50
三重県	-	-	1	0.02	-	-	64	1.42	1	0.08	2	0.17	-	-	-	-	7	0.78
滋賀県	1	0.03	1	0.03	-	-	24	0.75	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	24	0.32	-	-	5	0.28	-	-	-	-	1	0.14
大阪府	1	0.01	8	0.04	-	-	115	0.61	1	0.02	14	0.33	-	-	1	0.09	13	1.18
兵庫県	1	0.01	-	-	-	-	96	0.74	1	0.03	21	0.60	-	-	1	0.09	2	0.18
奈良県	-	-	1	0.03	-	-	6	0.17	-	-	3	0.33	-	-	-	-	1	0.17
和歌山県	-	-	-	-	-	-	20	0.65	1	0.25	4	1.00	-	-	-	-	1	0.09
鳥取県	-	-	1	0.05	-	-	9	0.47	-	-	1	0.33	-	-	-	-	1	0.20
島根県	-	-	-	-	-	-	21	0.91	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	12	0.22	-	-	32	0.59	1	0.08	7	0.58	-	-	-	-	4	0.80
広島県	-	-	9	0.13	-	-	26	0.36	-	-	12	0.63	-	-	-	-	14	0.67
山口県	-	-	19	0.39	-	-	20	0.41	-	-	5	0.56	-	-	-	-	1	0.11
徳島県	-	-	2	0.09	-	-	4	0.18	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	1	0.03	-	-	15	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.20
愛媛県	-	-	1	0.03	-	-	29	0.78	-	-	15	1.88	-	-	1	0.17	1	0.17
高知県	-	-	2	0.07	-	-	35	1.17	-	-	12	4.00	-	-	-	-	5	0.71
福岡県	-	-	13	0.11	-	-	67	0.56	1	0.04	12	0.46	-	-	-	-	3	0.20
佐賀県	-	-	1	0.04	-	-	7	0.30	-	-	2	0.50	-	-	-	-	9	1.50
長崎県	-	-	2	0.05	-	-	6	0.14	2	0.25	10	1.25	-	-	-	-	1	0.08
熊本県	-	-	8	0.17	-	-	23	0.48	-	-	19	2.11	-	-	1	0.07	2	0.13
大分県	-	-	4	0.11	-	-	34	0.94	-	-	3	0.60	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	1	0.03	-	-	57	1.58	-	-	14	2.33	-	-	-	-	1	0.14
鹿児島県	-	-	1	0.02	-	-	57	1.02	-	-	4	0.57	-	-	-	-	4	0.33
沖縄県	-	-	1	0.03	-	-	21	0.62	-	-	10	1.00	-	-	2	0.29	39	5.57

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 2007年9週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	5	0.01	2	0.00	962
北海道	-	-	-	-	100
青森県	-	-	-	-	11
岩手県	-	-	-	-	15
宮城県	-	-	1	0.08	11
秋田県	-	-	-	-	26
山形県	-	-	-	-	14
福島県	-	-	-	-	48
茨城県	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	9
群馬県	-	-	-	-	1
埼玉県	1	0.11	-	-	8
千葉県	-	-	-	-	5
東京都	1	0.04	-	-	12
神奈川県	-	-	-	-	29
新潟県	1	0.08	-	-	3
富山県	-	-	-	-	5
石川県	-	-	-	-	9
福井県	-	-	-	-	15
山梨県	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	10
岐阜県	-	-	-	-	22
静岡県	-	-	-	-	29
愛知県	-	-	-	-	49
三重県	-	-	1	0.11	23
滋賀県	-	-	-	-	4
京都府	-	-	-	-	6
大阪府	-	-	-	-	85
兵庫県	-	-	-	-	72
奈良県	1	0.17	-	-	9
和歌山県	-	-	-	-	22
鳥取県	-	-	-	-	7
島根県	1	0.13	-	-	4
岡山県	-	-	-	-	22
広島県	-	-	-	-	31
山口県	-	-	-	-	29
徳島県	-	-	-	-	22
香川県	-	-	-	-	20
愛媛県	-	-	-	-	26
高知県	-	-	-	-	35
福岡県	-	-	-	-	33
佐賀県	-	-	-	-	5
長崎県	-	-	-	-	13
熊本県	-	-	-	-	13
大分県	-	-	-	-	12
宮崎県	-	-	-	-	18
鹿児島県	-	-	-	-	10
沖縄県	-	-	-	-	7

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年9週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群 (SARS)						細菌性赤痢		ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	サル		サル		プレーリードッグ		イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2007年9週

	インフルエンザ(H5N1)	
	鳥類	
	報告数	累積
総 数	-	4
北海道	-	-
青森県	-	-
岩手県	-	-
宮城県	-	-
秋田県	-	-
山形県	-	-
福島県	-	-
茨城県	-	-
栃木県	-	-
群馬県	-	-
埼玉県	-	-
千葉県	-	-
東京都	-	-
神奈川県	-	-
新潟県	-	-
富山県	-	-
石川県	-	-
福井県	-	-
山梨県	-	-
長野県	-	-
岐阜県	-	-
静岡県	-	-
愛知県	-	-
三重県	-	-
滋賀県	-	-
京都府	-	-
大阪府	-	-
兵庫県	-	-
奈良県	-	-
和歌山県	-	-
鳥取県	-	-
島根県	-	-
岡山県	-	1
広島県	-	-
山口県	-	-
徳島県	-	-
香川県	-	-
愛媛県	-	-
高知県	-	-
福岡県	-	-
佐賀県	-	-
長崎県	-	-
熊本県	-	-
大分県	-	-
宮崎県	-	3
鹿児島県	-	-
沖縄県	-	-

感染症週報 第9巻 第9号 2007年3月16日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 < 国立感染症研究所 感染症情報センター >
<http://www.mhlw.go.jp/>
 < 厚生労働省 >
<http://www.forth.go.jp/>
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。